I-O DATA

WN-AB/CB 取扱説明書

126789-01

【特長】

●１台２役、IEEE802.11a/IEEE802.11bの両規格に対応！

異なるふたつの無線通信規格に対応したPCカード。自宅、オフィス、無線インターネットサービスなど、１枚のカードでそれぞれのシーンにあわせた無線環境にアクセスできます。

●無線環境設定まるごとカンタン切り替え可能

リスト上で接続先をクリックするだけでTCP/IPの設定、プロキシの設定も含めた無線環境をまるごと切り替えることができます。接続先変更時の面倒な設定は一切不要です。

●グラフィカルな表示でわかりやすい設定ユーティリティ

電波の受信状況をグラフで表示。通信中の電波状況を目でみて確認することができます。

●わかりやすいLED表示

使用している無線接続方式を２色のLEDでわかりやすく表示します。

●オンラインヘルプ付き

オンラインヘルプがついているので外出先で操作方法に手間取ったときも安心です。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は日本国外で使用できません。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継機、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名、サービス名、ソフト名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ ····· 1
必ずお守りください····· 3
本製品で使用する電波について····· 8
使用上の注意····· 10

本製品を使うまでの手順

以下の流れにしたがって、本製品を使う環境をつくりましょう。

まず行うこと

使う前に ····· 11
箱の中を確認する····· 12
動作環境を確認する····· 13
各部のなまえとはたらき····· 14

セットアップ

インストールする ····· 15
①アクセスポイントを設置する····· 16
②ドライバをインストールする····· 18
Windows XP····· 19
Windows 2000····· 24
Windows Me····· 31
③ユーティリティをインストールする····· 36

アクセスポイントと通信する ····· 43
Windows XPで設定する····· 44
Windows 2000/Meで設定する····· 47

必要なときに読むところ

応用操作、トラブル解決法、本製品の付属情報です。

応用編

無線LANアダプタのみで通信する ・・・・・・・・・・ 49

使用環境を確認する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
Windows XPで設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
Windows 2000/Meで設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54

暗号化する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57

Windows XPで暗号化する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
Windows 2000/Meで暗号化する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62

接続を切替/編集/削除する ・・・・・・・・・・・・・・・ 65

設定ユーティリティを使う ・・・・・・・・・・・・・・・ 73

ファイルを共有する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81

その他

困った時には・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102
本製品を取り外す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117
本製品を削除する（アンインストール） ・・・・・・・・・・ 118
用語解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 125
アフターサービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害や、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「発火注意」を表す絵表示

⊘

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。

警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。


分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。ご自分で修理・分解・改造された場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。


電源プラグを抜く

使用中に本製品やパソコン、周辺機器から煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

パソコンや周辺機器の電源を切ってコンセントからプラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、正しい手順で使用してください。

指定されたスロットに正しく差し込んでください。正しく装着されていないと、火災や故障の原因になります。


厳守

本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、本製品の取扱説明書をご確認になり、正しい手順で行ってください。

正しい手順を行わないと、感電や故障の原因になります。


水濡れ禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中（屋外）、海岸・水辺など水気が多いところでの使用は火災・感電・故障の原因となります。


禁止

故障や異常のまま、通電しないでください。

本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



本製品を病院内で使用しないでください。

医療機器の誤動作の原因になることがあります。



心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用してください。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。



本製品を飛行機の中で使用しないでください。

飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピュータの PC カードスロットから本製品を取り外してください。



日本国外で使用できません。



本製品を 5.2GHz 帯で使用する場合、屋外で使用しないでください。

本製品を屋外で使用する場合は、あらかじめ 5.2GHz 帯の電波を無効にしてください。法令により 5.2GHz 無線機器を屋外で使用することは禁止されています。

⚠ 注意


注意

本製品を使用する際に、データの保証は一切いたしかねます。

取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。
また、故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。


禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力・電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所（保管は問題ありません）


禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えたり、無理な力を加えたりしない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない


禁止

本製品のコネクタ部分には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。



本製品を使用してデータ転送中に、パソコンの電源を切ったり、リセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

本製品で使用する電波について

本製品は、2.4GHzおよび5.2GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

・以下の近くでは使用しないでください。

・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

・携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。

携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用しています。
そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信およびこれらの機器の通信に影響はありません。
ただし、これらの機器を無線LAN製品に近づけた場合は、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

・間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等などは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。
ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。
同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。

・屋外で、5.2GHz帯を使用しないでください。

本製品を屋外で使用する場合は、あらかじめ5.2GHz帯の電波を無効にしてください。法令により5.2GHz無線機器を屋外で使用することは禁止されています。

2.4GHz帯使用の無線機器について

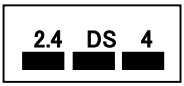
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。

・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

・その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：サポートセンター　電話：　金沢　076-260-3644
東京　03-3254-1144



2.4：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す
DS　：変調方式を表す
4　：想定される与干渉距離を表す（<=40m）
■■■：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

使用上の注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

・取り扱い上の注意

・コネクタ部分に金属などを差し込まないでください。
・ぬらさないでください。
・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。
・モータなどノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してお使いください。

・使用上の注意

・本製品はパソコンの「スタンバイ」、「スリープ機能」、「レジューム」、「ハイバネーション」には対応しておりません。
本製品を使用する場合は、これらの機能は無効に設定してください。

・修理について

・本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。
改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

使う前に

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

箱の中を確認する

内容物リストを確認します。

▼

12ページ

動作環境を確認する

本製品を使うことができる機種やOSなどを確認します。

▼

13ページ

各部のなまえとはたらき

本製品の各部のなまえとはたらきを確認します。

14ページ

箱の中を確認する

ご使用の前に以下のものがそろっていることを ☐ にチェックをつけながらご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

内容物

☐ 本製品（専用ケース付き：１枚）



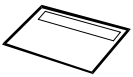
☐ サポートソフトディスク（１枚）
[CD-ROM]



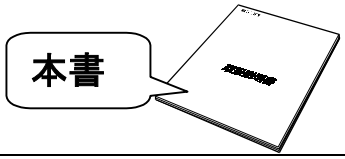
☐ ハードウェア保証書（１枚）



☐ 「無線**LAN**について」シール（１枚）



☑ 取扱説明書（１冊）



注意！

・箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
・イラストは若干異なる場合があります。

参考

《ユーザー登録をしよう！》
弊社からお客様へ連絡を差し上げる際の資料となります。
(e-mail アドレスを登録したご希望の方へは、新製品・サポート情報満載の e-mail I・O NewsLetter を定期的にお届けします。)
登録アドレスはこちら ⇒ http://www.iodata.jp/regist/

動作環境を確認する

本製品の動作環境を確認します。

動作環境	
CardBus規格に準拠したPCカードスロット(PCMCIA TYPEⅡ) を搭載し、 CD-ROMドライブ（インストール用）を搭載※した下記の機種・OS	
対応機種	**対応OS**
・NEC PC98-NXシリーズ ・DOS/Vマシン 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしております。	・Windows XP ・Windows 2000 ・Windows Me

※ CD-ROMドライブが無い場合やPCカード接続のCD-ROMドライブを使用している場合は、105ページをご覧ください。

通信可能機器
IEEE802.11aまたはIEEE802.11b準拠の無線LAN製品と通信できます。 有線LAN（LANケーブルで接続されたネットワーク）と通信するには、アクセスポイント（弊社製WN-A54/AXPなど）が必要です。 ・WN-AB/CB （本製品⇔本製品で通信） ・WN-A54/CB、WN-A54/PCM （無線LAN PCカード） ・WN-A54/AXP （無線アクセスポイント） ・WN-A54/BBR （無線ブロードバンドルータ） ・WN-B11/LAN （無線LAN デュアルモードアダプタ アクセスポイントモード） ・WN-B11/PCMH、WN-B11/PCM （無線LAN PCカード） ・WN-B11/USBH、WN-B11/USB、WN-B11/USBS （無線LAN USBアダプタ） ・WN-B11/CF （無線LAN CFカードアダプタ） ・WN-B11/PCI、WN-B11/PCIH （無線LAN PCIアダプタ） ・WN-B11/PRS （無線プリントサーバ） ・WN-B11/AXPH、WN-B11/AXP （無線アクセスポイント） ・WN-B11/BBRH、WN-B11/BBR （無線LANブロードバンドルータ） ・WN-B11/INS （無線ISDNルータ）



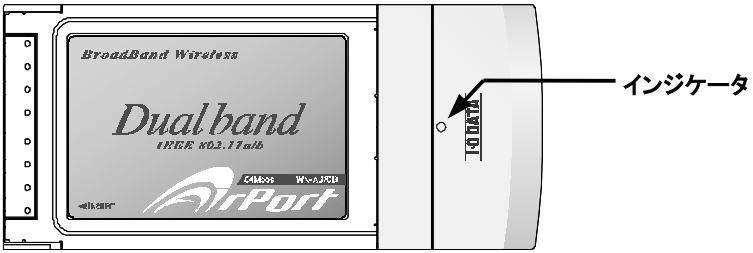
注意！

本製品は、以下とは通信できません。

- **弊社製 無線LAN PCカード PCWN-W10**
- **弊社製 コードレスネットワークシンフォニーシリーズ (WN-S/560, WN-S/PCI, PCWN-S)**
- **弊社製 無線スイッチングハブ WNA-FSWH4**

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらきを確認します。



インジケータ		
色	**光り方**	**状態**
緑 (2.4GHz)	点滅	通信中
	点灯	通信待機中 (通信可能な状態ですが、データの送受信は行われていません。)
橙 (5.2GHz)	点滅	通信中
	点灯	通信待機中 (通信可能な状態ですが、データの送受信は行われていません。)
赤	点滅	接続が確立されていません。 (本製品に問題はありません。)
ー	消灯	本製品が通電していません。

インストールする

①アクセスポイントを設置する

アクセスポイントを設置し、アクセスポイントの設定を確認します。

▼

16 ページ

②ドライバをインストールする

本製品のドライバをインストールします。OS ごとに方法は異なります。

▼

18 ページ

③ユーティリティをインストールする

本製品を設定するための設定ユーティリティをインストールします。

36 ページ

①アクセスポイントを設置する

無線 LAN アクセスポイントと通信する場合は、次のように設置をしてください。

1 アクセスポイントの電源を入れた状態で設置します。

アクセスポイントの設置方法については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

2 アクセスポイントの「SSID」（ESSID）をメモします。

アクセスポイント取扱説明書をご覧になり、下に書き込んでください。
SSIDについては次ページの参考をご覧ください。
※SSIDは【アクセスポイントと通信する】の設定で使用します。

▼確認したSSID(ESSID)を記入してください。

SS ID(ESS ID)	

3 アクセスポイントの[暗号キー]をご確認ください。

アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
暗号化されている場合は暗号キーをメモしてください。
※暗号キーは【アクセスポイントと通信する】で使用します。



注意！

はじめて、弊社製 WN-A54/BBR などのルータ機能を持つアクセスポイントを設定する場合は、ADSL モデムやケーブルモデムとつなぐ必要はありません。アクセスポイント側のインターネット接続に関しては本製品との無線接続が終了した後にアクセスポイント付属の取扱説明書を参照して設定を行ってください。

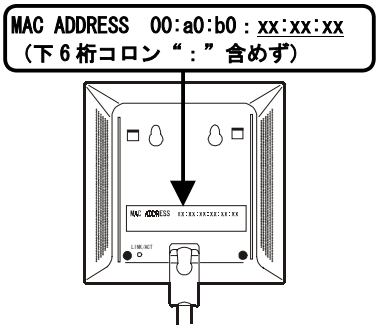
参考

●SS ID とは？
複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。SS ID が一致していないと、そのネットワークには参加できません。アクセスポイントによっては、SS ID が ESS ID と記載されている場合もあります。

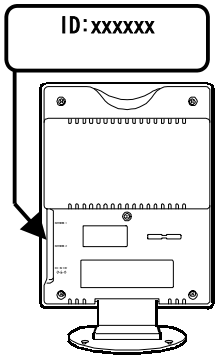
●弊社製アクセスポイントを使用する場合

- **IEEE802.11b 無線 LAN アクセスポイント「WN-B11/AXPH、WN-B11/BBRH」など工場出荷時状態で、SSID が「default」に設定されています。**
- **IEEE802.11a 無線 LAN アクセスポイント「WN-A54/AXP、WN-A54/BBR」工場出荷時状態で、SSID が MAC アドレスの下 6 桁に設定されています。下図でご確認ください。**

▼WN-A54/AXP
（リアパネルを外した状態）



▼WN-A54/BBR
（背面）



②ドライバをインストールする

本製品を使うには、はじめにドライバをインストールする必要があります。
ここでは、各 OS に本製品のドライバをインストールします。

お使いのパソコンの OS ごとに、インストール方法が異なります。
以下の必要なページのみご覧ください。

●Windows XP でご使用の場合
⇒【Windows XP】(次ページ)

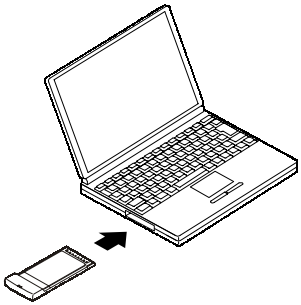
●Windows 2000 でご使用の場合
⇒【Windows 2000】(24 ページ)

●Windows Me でご使用の場合
⇒【Windows Me】(31 ページ)

Windows XP

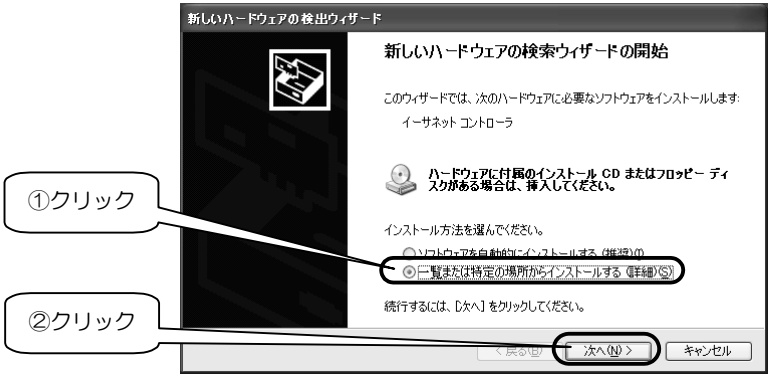
1 管理者権限のあるユーザでWindows XPにログインします。

2 本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥まで挿入します。

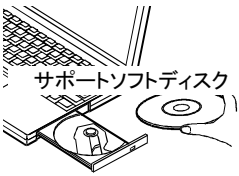


PCカードスロットの位置は、お使いのパソコンによって異なります。
パソコンの取扱説明書をご覧ください。

3 [一覧または特定の場所…]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



4 サポートソフトディスクをCD-ROMドライブにセットします。



Windows XP（つづき）

5 ドライバの検索場所を指定します。

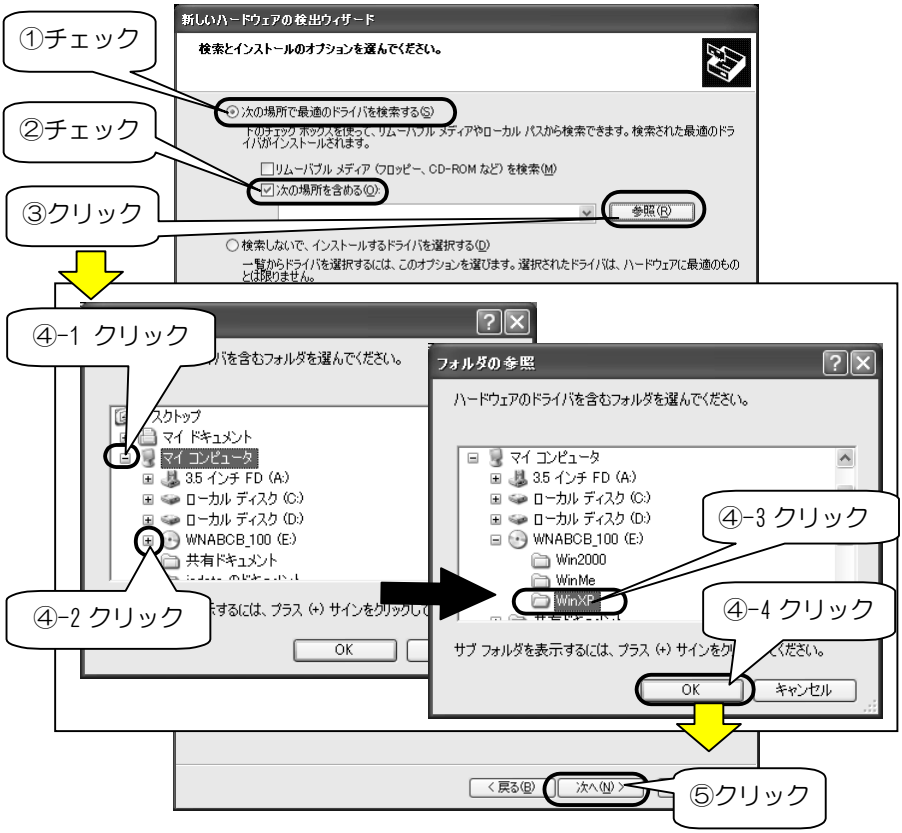
①［次の場所で最適のドライバを検索する］をチェックします。

②［次の場所を含める］のみをチェックします。
（その他の項目のチェックは外してください。）

③［参照］ボタンをクリックします。

④［マイコンピュータ］→CD-ROMドライブ→［WINXP］を順にクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

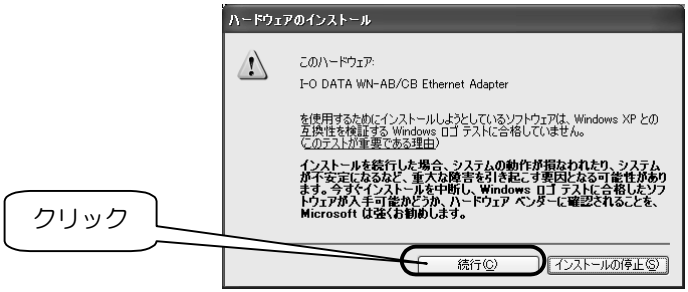
⑤［次へ］ボタンをクリックします。



Windows XP（つづき）

6 ［続行］ボタンをクリックします。

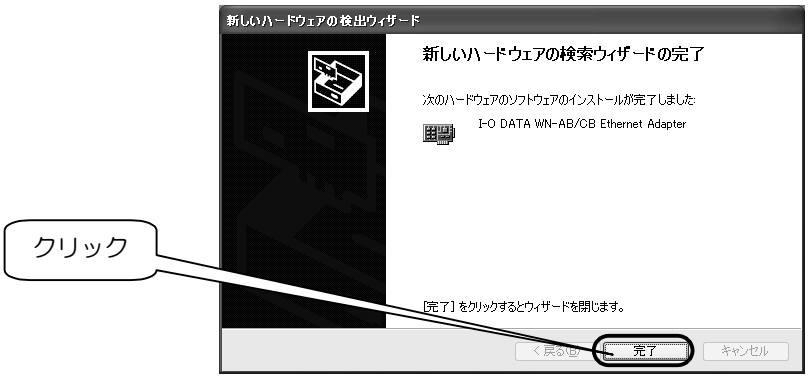
ボタンをクリック後、ファイルのコピーを開始します。



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。
（特に問題ありません。）
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。
このたびお買い上げ頂いた製品は、現時点では認定を受けておりません。

7 しばらくして以下の画面が表示されたら、サポートソフトを取り出し、［完了］ボタンをクリックします。

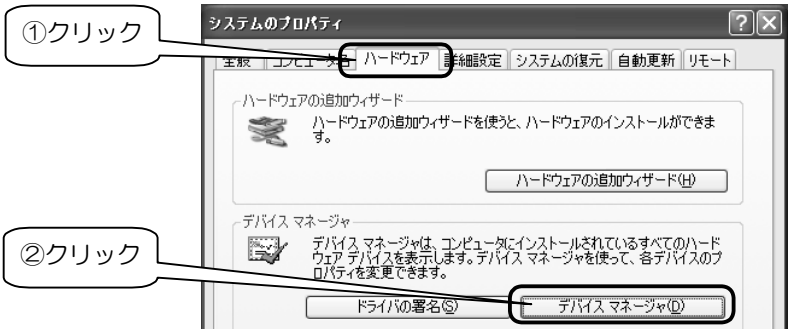


Windows XP（つづき）

8 **[スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。**



9 **[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**

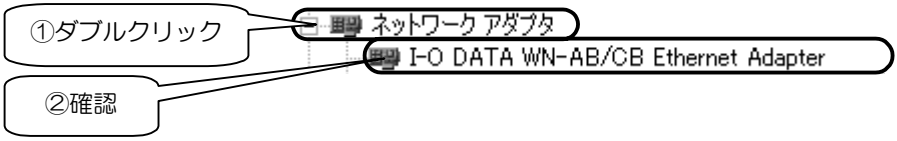


Windows XP（つづき）

10 ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックします。

・［ネットワークアダプタ］の下に
［I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter］と表示されていることを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。



［I-O DATA WN-AB/CB …］
が無い場合は…

【困ったときには】の
104 ページをご覧ください。

頭に！マークが
ある場合は…

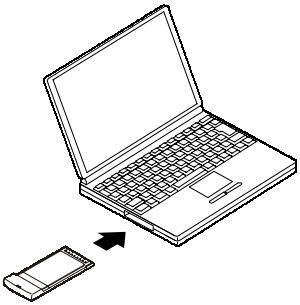
【困ったときには】の
107 ページをご覧ください。

以上でドライバのインストールは終了です。【③ユーティリティをインストールする】（36 ページ）へお進みください。

Windows 2000

1 **Administrators権限のあるユーザでログインします。**

2 **本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥まで挿入します。**

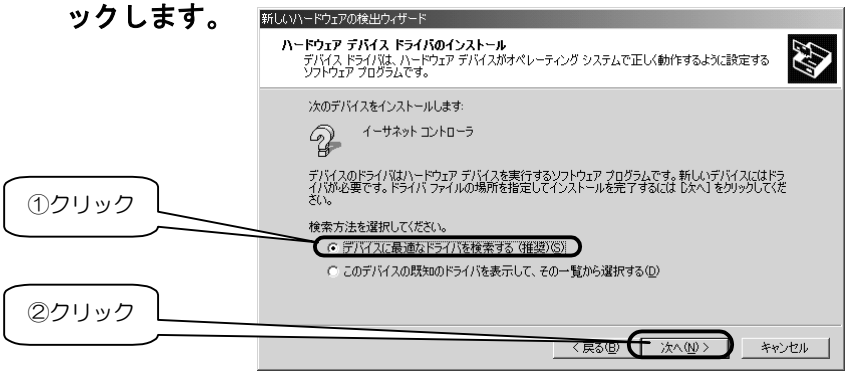


PCカードスロットの位置は、お使いのパソコンによって異なります。
パソコンの取扱説明書をご覧ください。

3 **[次へ]ボタンをクリックします。**



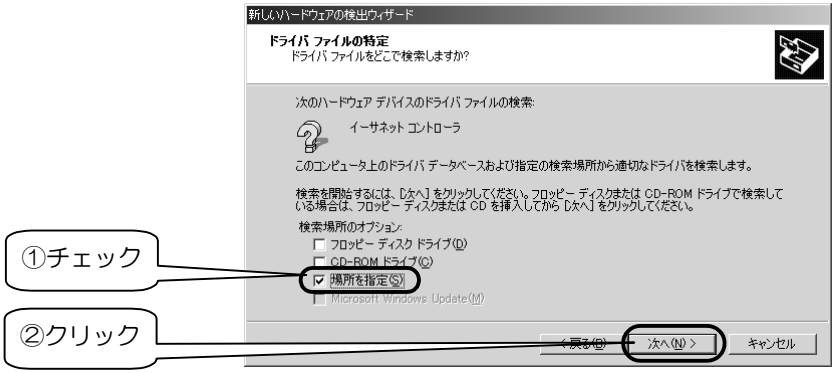
4 **[デバイスに最適な…]にチェックを付け、[次へ]ボタンをクリックします。**



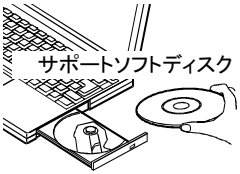
Windows 2000（つづき）

5 **[場所を指定]のみにチェックを付け、[次へ]ボタンをクリックします。**

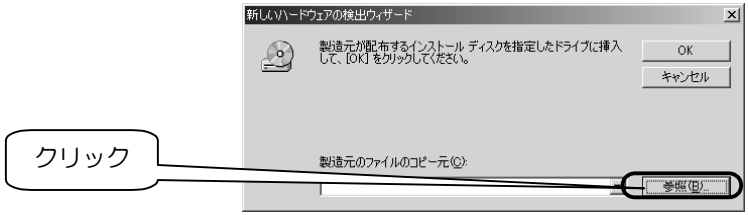
他のチェックは外してください。



6 **サポートソフトディスクをCD-ROMドライブにセットします。**

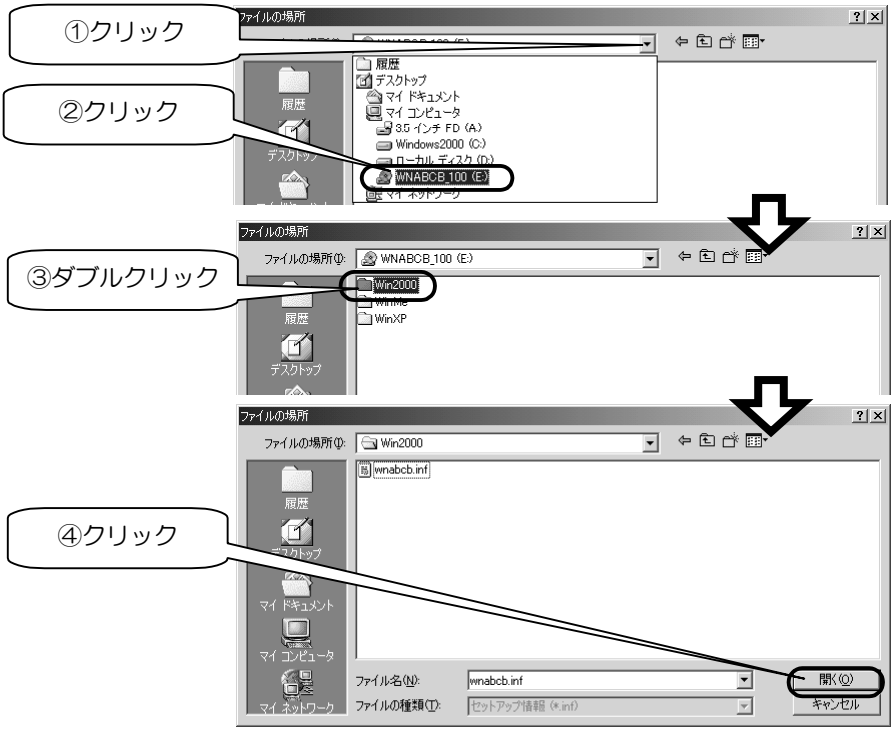


7 **[参照]ボタンをクリックします。**

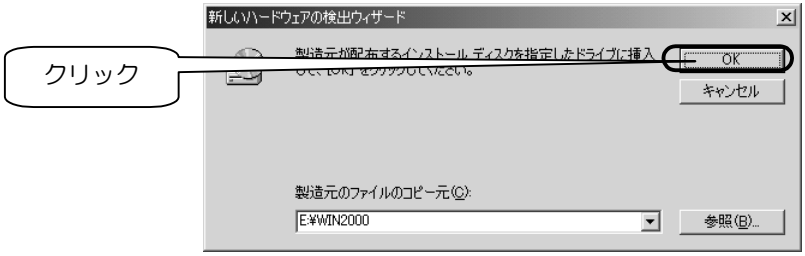


Windows 2000（つづき）

8 CD-ROMの[WIN2000]フォルダを指定し、[開く]ボタンをクリックします。

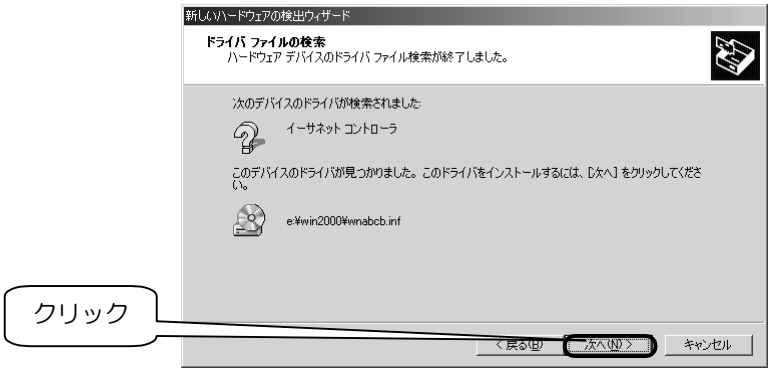


9 [OK]ボタンをクリックします。



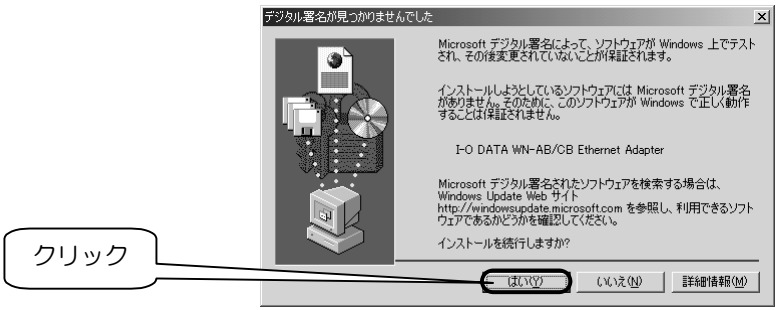
Windows 2000（つづき）

10 [次へ]ボタンをクリックします。



11 ［はい］ボタンをクリックします。

ボタンをクリック後、ファイルのコピーを開始します。

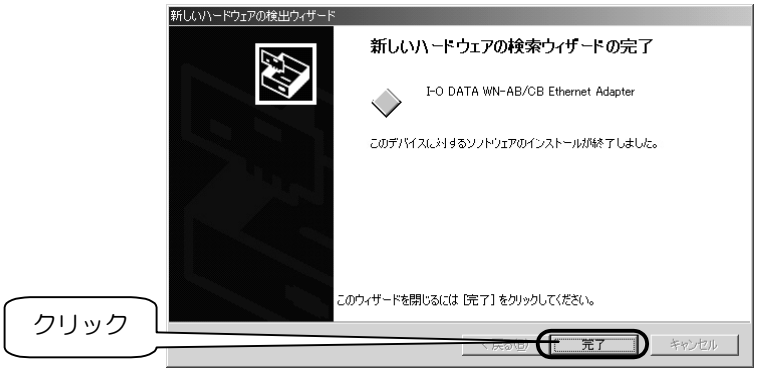


参考

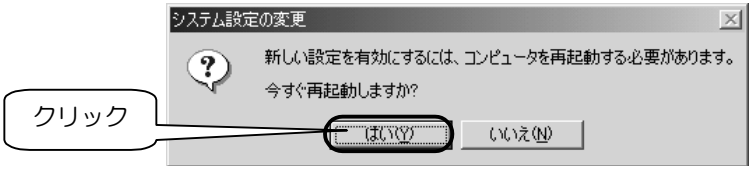
弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。
（特に問題ありません。）
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。
このたびお買い上げ頂いた製品は、現時点では認定を受けておりません。

Windows 2000（つづき）

12 **しばらくして以下の画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。**



13 **再起動の画面が表示される場合は、[はい]をクリックして、パソコンを再起動します。**

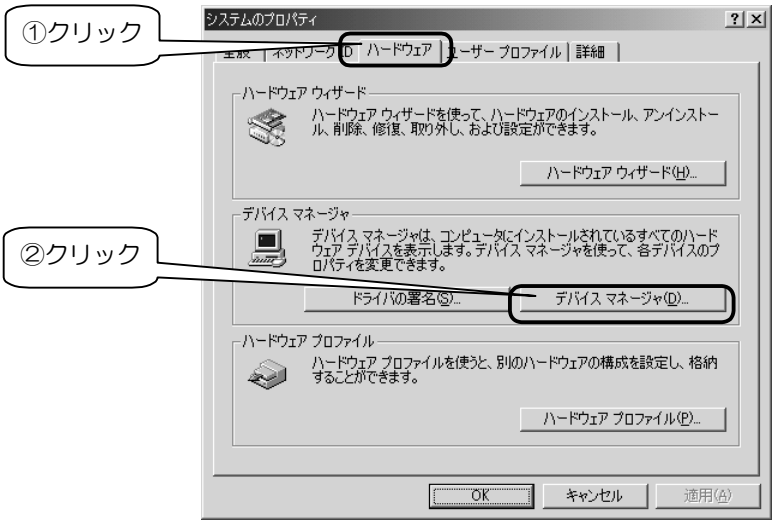


Windows 2000（つづき）

14 **[マイコンピュータ]を右クリックし[プロパティ]をクリックします。**



15 **[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**



Windows 2000（つづき）

16 ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックします。

・［ネットワークアダプタ］の下に
［I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter］と表示されていることを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。



［I-O DATA WN-AB/CB …］
が無い場合は…

【困ったときには】の
104 ページをご覧ください。

頭に！マークが
ある場合は…

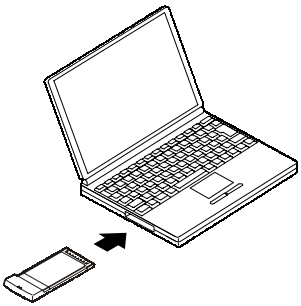
【困ったときには】の
107 ページをご覧ください。

以上でドライバのインストールは終了です。【③ユーティリティをインストールする】（36 ページ）へお進みください。

Windows Me

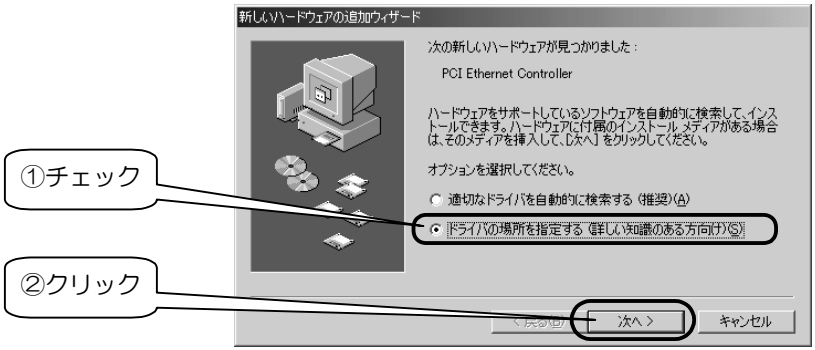
1 パソコンを起動します。

2 本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥まで挿入します。

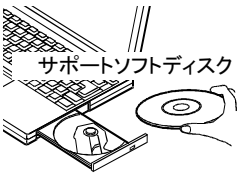


PCカードスロットの位置は、お使いのパソコンによって異なります。
パソコンの取扱説明書をご覧ください。

3 [ドライバの場所を指定…]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



4 サポートソフトディスクをCD-ROMドライブにセットします。

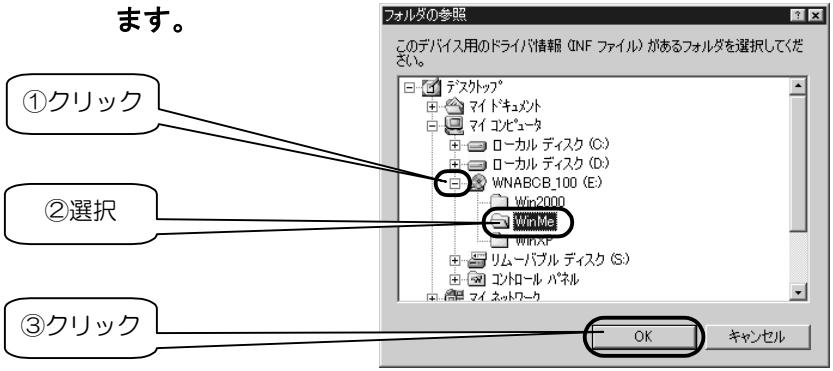


Windows Me（つづき）

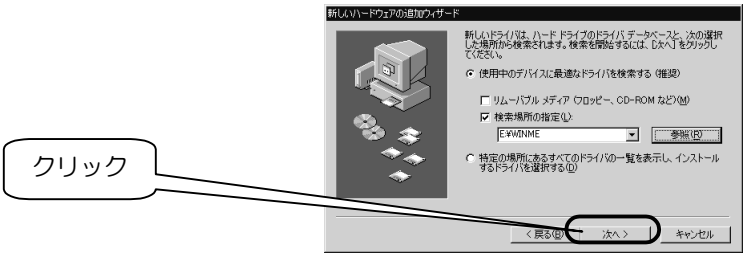
5 **[検索場所の指定]のみにチェックを付け、[参照]ボタンをクリックします。**



6 **CD-ROMの[WINME]フォルダを指定し、[OK]ボタンをクリックします。**

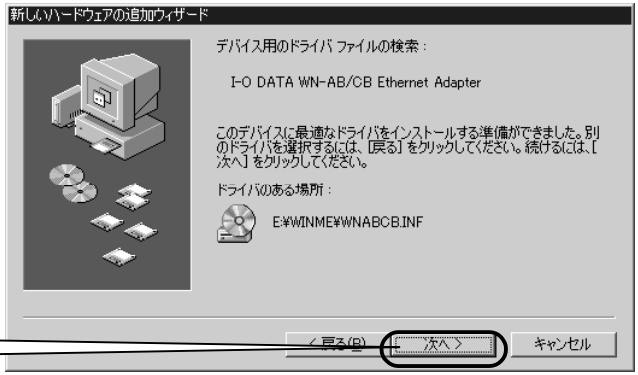


7 **[次へ]ボタンをクリックします。**



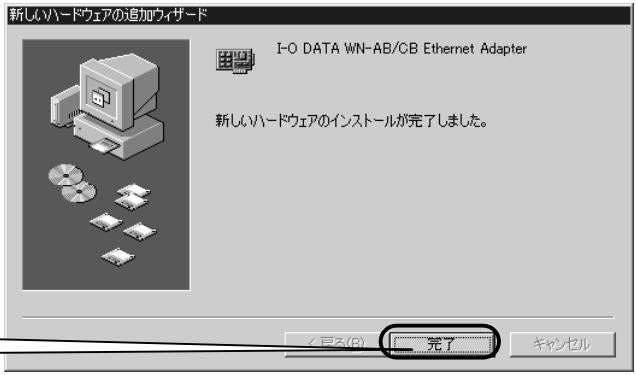
Windows Me（つづき）

8 **[次へ]ボタンをクリックします。**



9 **[完了]ボタンをクリックします。**

→この後、他の画面が表示された場合は、次ページをご覧ください。



参考

[I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter]と表示されていない場合は、[戻る]ボタンをクリックして、手順7, 8の画面（検索場所の指定でCD-ROMドライブの「WINME」フォルダが指定されていること）を確認してください。

Windows Me（つづき）

注意！

[ファイルのコピー]画面が表示される場合があります。

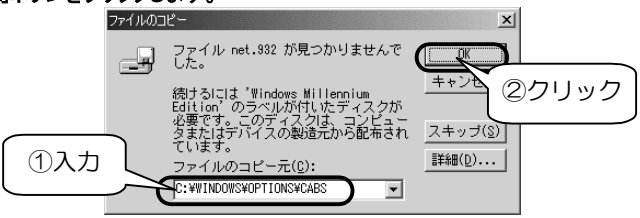
●お使いのパソコンが Windows Me プリインストールモデルの場合

→①[ファイルのコピー元]欄を以下のように指定します。

[C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS]

（Windows Me がインストールされているドライブが C ドライブの場合の例）

②[OK]ボタンをクリックします。



●他の Windows からアップグレードインストールした場合（CD-ROM から Windows Me をインストールした場合）

→①[ファイルのコピー元]欄を以下のように指定します。

[C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥INSTALL]

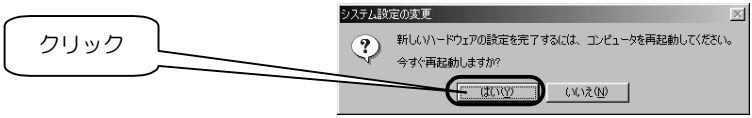
（Windows Me がインストールされているドライブが C ドライブの場合の例）

②[OK]ボタンをクリックします。



10 [はい]をクリックして、パソコンを再起動します。

画面が表示されない場合は、手動で再起動してください。



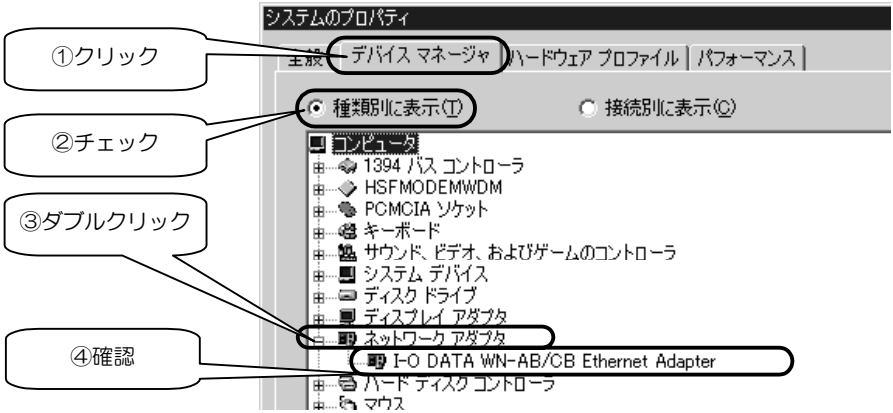
Windows Me（つづき）

11 **［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

12 **［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［種類別に表示］で［ネットワークアダプタ］をダブルクリックします。**

・［ネットワークアダプタ］の下に
［I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter］と表示されていることを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。



［I-O DATA WN-AB/CB …］が無い場合は…

【困ったときには】の104 ページをご覧ください。

頭に！マークがある場合は…

【困ったときには】の107 ページをご覧ください。

以上でドライバのインストールは終了です。【③ユーティリティをインストールする】（36 ページ）へお進みください。

③ユーティリティをインストールする

本製品の設定をするための「設定ユーティリティ」をインストールします。

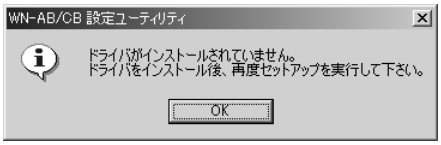
1 **[マイコンピュータ]内のCD-ROMアイコンを ダブルクリックし、[SETUP]アイコンを ダブルクリックします。**





注意！

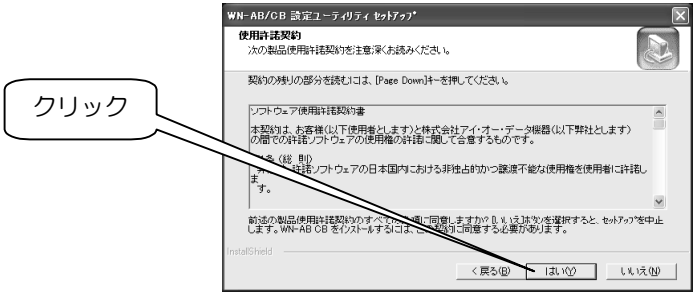
下の画面が表示された場合は、本製品のドライバが正常にインストールされていません。【②インストールする】(18 ページ) をご覧になり、ドライバのインストールをしてください。



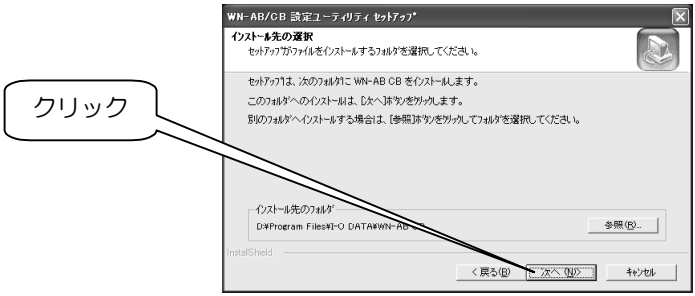
2 **[次へ]ボタンをクリックします。**



3 **[はい]ボタンをクリックします。**



4 [次へ]ボタンをクリックします。



5 [完了]ボタンをクリックします。

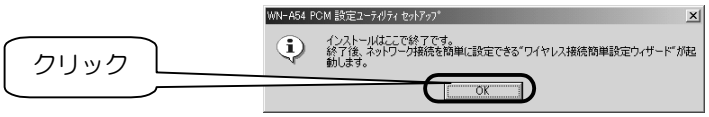


Windows XP でお使いの場合は、以上でユーティリティのインストールは終了です。CD-ROM を取り出し、【アクセスポイントと通信する】（43 ページ）へお進みください。

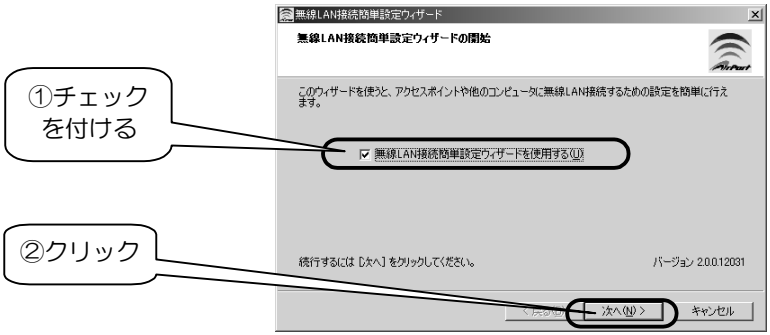
Windows2000/Me でお使いの場合は、次ページへお進みください。

【つづき】Windows 2000/Meのみ

6 **[OK]ボタンをクリックします。**

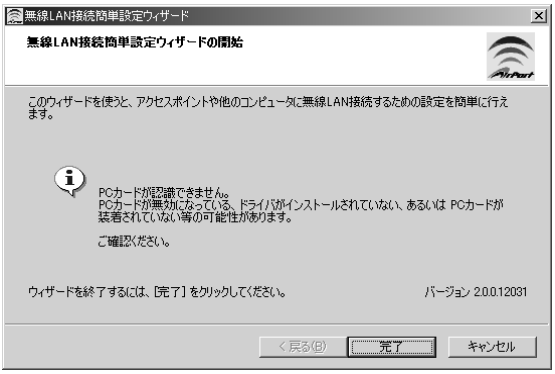


7 **[ワイヤレス接続簡単設定ウィザードを使用する]にチェックを付け、[次へ]ボタンをクリックします。**



注意！

下記の画面が表示された場合は、【本製品を削除する（アンインストール）】（118ページ）で本製品を削除した後、【困った時には】の【本製品が正常に動作しない】（107 ページ）をご覧ください。

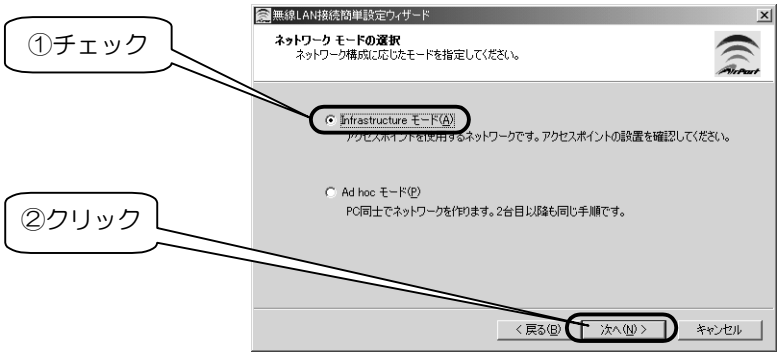


【つづき】Windows 2000/Meのみ

注意！

以降は、アクセスポイントを利用した[Infrastructure モード]で通信する際の方法です。無線 LAN アダプタ同士で通信する[Ad hoc モード]で使用する場合は、【参考：Ad hoc】(41 ページ) をご覧ください。

8 [Infrastructureモード]が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。



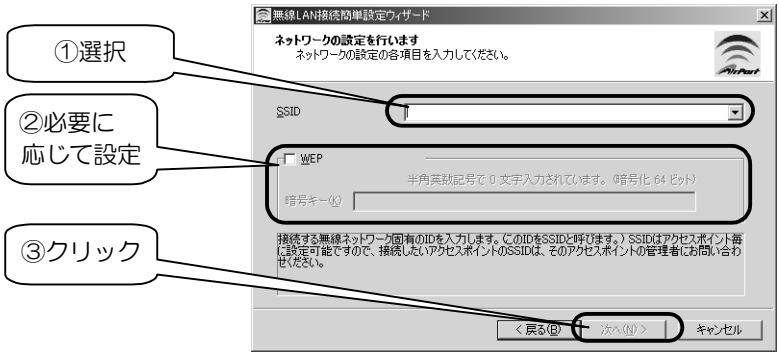
9 ネットワークの設定を行います。

①[SSID]のプルダウンメニューから、16ページで確認したSSIDを選択します。SSIDが表示されない場合は、確認したSSIDを直接入力します。

②アクセスポイントで暗号化（WEP）の設定がされている場合は、[WEP]にチェックを付け、[暗号キー]を入力します。

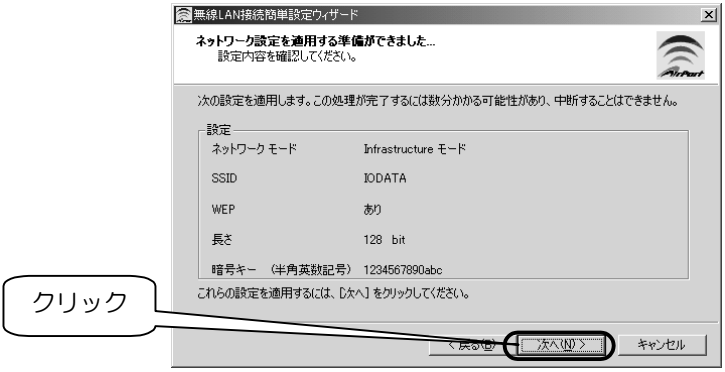
（詳しくは【暗号化する】（57ページ）をご覧ください。）

③[次へ]ボタンをクリックします。

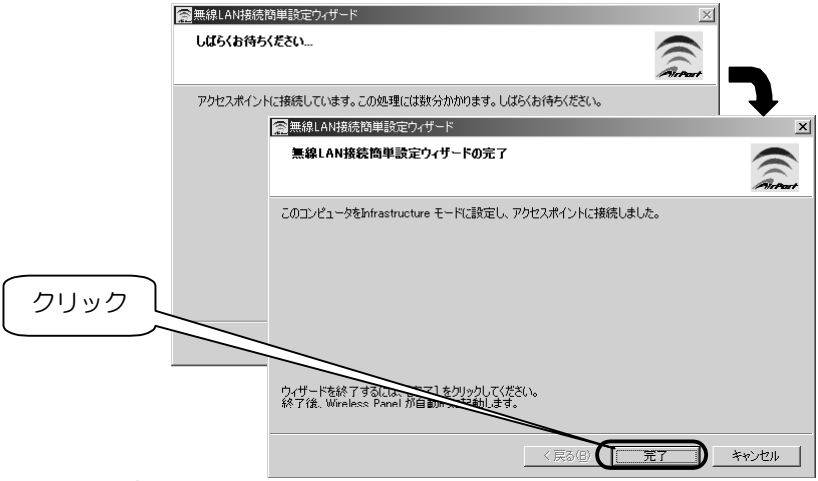


【つづき】Windows 2000/Meのみ

10 **設定内容を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。**



11 **しばらくお待ちください。**
下の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



注意！

●無線 LAN 接続できない場合は…
→【困った時には】の 109 ページをご覧ください。

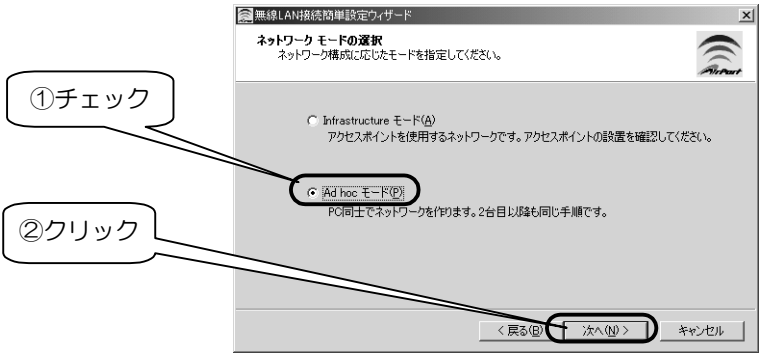
以上で、本製品は[Infrastructure モード]で動作できます。

【参考：Ad hoc】Windows 2000/Meのみ

注意！

以降は本製品を無線LANアダプタ同士で通信する[Ad hocモード]の際の方法です。

8 [Ad hocモード]が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。



9 ネットワークの設定を行います。

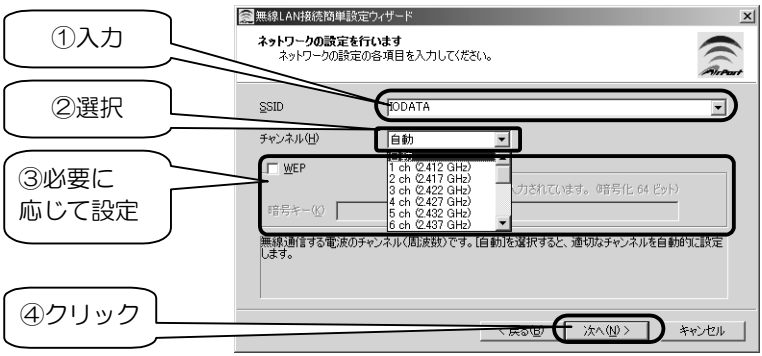
①[SSID]にお好きな文字列を入力します。2台目以降の設定でも同じSSIDを入力します。通信する無線LANアダプタで同じSSIDを設定します。

②[チャンネル]を選択します。

③暗号化（WEP）の設定をする場合は、[WEP]にチェックを付け、[暗号キー]を入力します。

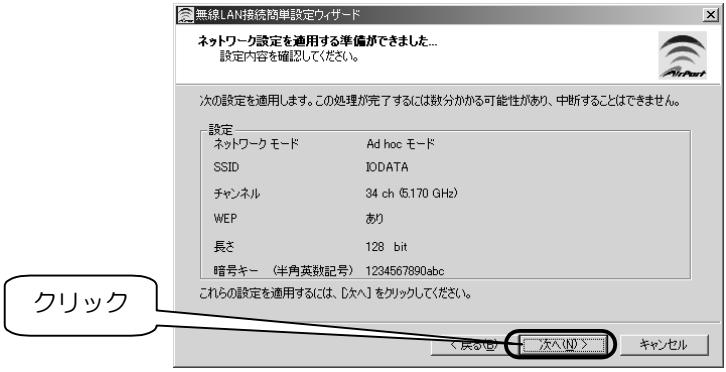
（詳しくは【暗号化する】（57ページ）をご覧ください。）

④[次へ]ボタンをクリックします。

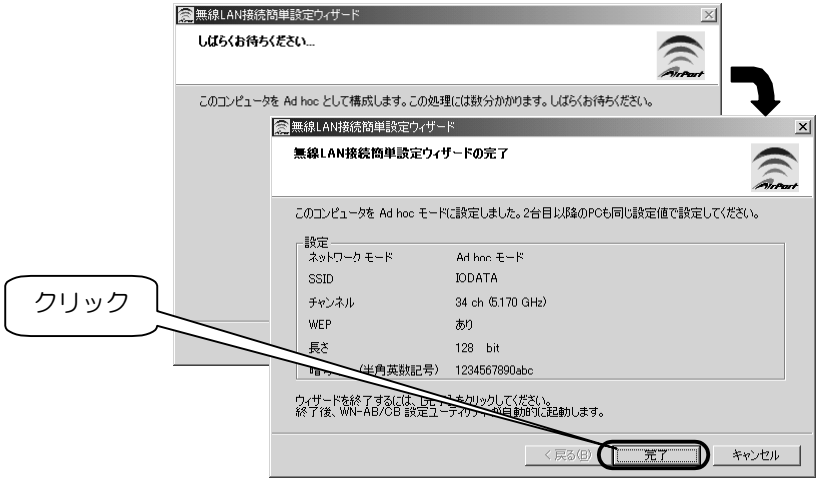


【参考：Ad hoc】Windows 2000/Meのみ

10 **設定内容を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。**



11 **しばらくお待ちください。**
下の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



注意！

●無線 LAN 接続できない場合は…
→【困った時には】の 109 ページをご覧ください。

以上で、本製品は[Ad hoc モード]で動作できます。

アクセスポイントと通信する

「インフラストラクチャ」モード

本製品とアクセスポイントを使用して通信するための設定をします。

Windows XPで設定する

Windows XPで使用する場合の設定です。

44ページ

Windows 2000/Meで設定する

Windows 2000/Meで使用する場合の設定です。すでに【③ユーティリティをインストールする】で設定済みの場合は、ここで設定する必要はありません。

47ページ

参考

●アクセスポイントを使用しない（無線LANアダプタのみで通信する）場合は、【無線LANアダプタのみで通信する】(49ページ)へお進みください。

●Administrators権限（管理者権限）のあるユーザのみが設定できます。Users権限のユーザは、Administrators権限（管理者権限）のユーザが設定した内容で通信できます。（設定変更はできません。）

●アクセスポイントと通信する際は、本製品で以下の設定が必要です。［SS ID］や［暗号キー］が通信するアクセスポイントと同じでないと通信できません。本製品の設定の前にアクセスポイントの設定を確認しておいてください。

▼本製品に必要な設定

SS ID	16ページで記入した［SS ID］
暗号キー	アクセスポイントと同じ［暗号キー］ （設定方法は【暗号化する】(57ページ)参照）

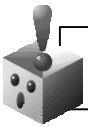
●接続するパソコンのネットワーク設定を、完了しておいてください。詳しくはネットワーク管理者やアクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

Windows XPで設定する

1 アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。

2 本製品を装着したすべてのパソコンの電源を入れます。

本製品のインジケータが、点灯/点滅することを確認してください。



インジケータが
消灯している場合は…

【困ったときには】の 104 ページをご覧ください。

3 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。

4 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。





参考

[クラシック表示]の場合は、[ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックして手順6 へお進みください。

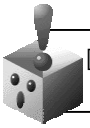


5 [ネットワーク接続]をクリックします。



6 インストール済みの[ワイヤレスネットワーク接続]アイコンを選択し、[この接続の設定を変更する]をクリックします。





[ワイヤレスネットワーク接続]が表示されない場合は…

【困ったときには】の 107 ページをご覧ください。

7 通信するネットワークを選択します。

①[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックします。

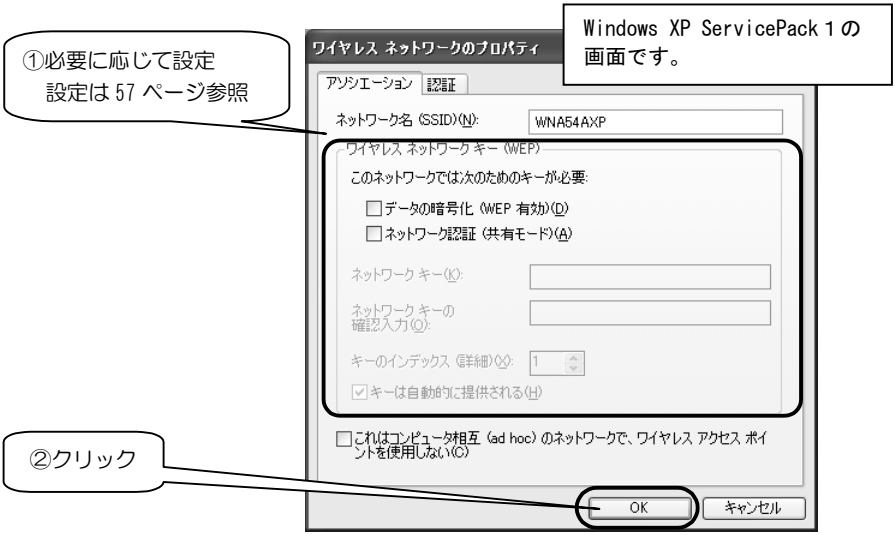
②[利用できるネットワーク]で16ページで確認したSSIDを選択します。

③[構成]ボタンをクリックします。

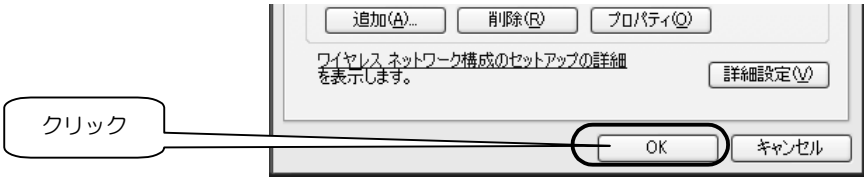


8 通信するアクセスポイントが暗号化(WEP)を設定している場合は設定をして、[OK]ボタンをクリックします。

暗号化について詳しくは【暗号化する】（57ページ）をご覧ください。



9 [ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ]へ戻りますので、[OK]ボタンをクリックします。



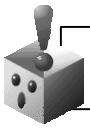
以上で設定は完了です。
ファイルの共有をする場合は、【ファイルを共有する】（81ページ）をご覧ください。

Windows 2000/Meで設定する

1 アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。

2 本製品を装着したすべてのパソコンの電源を入れます。

本製品のインジケータが、点灯/点滅することを確認してください。



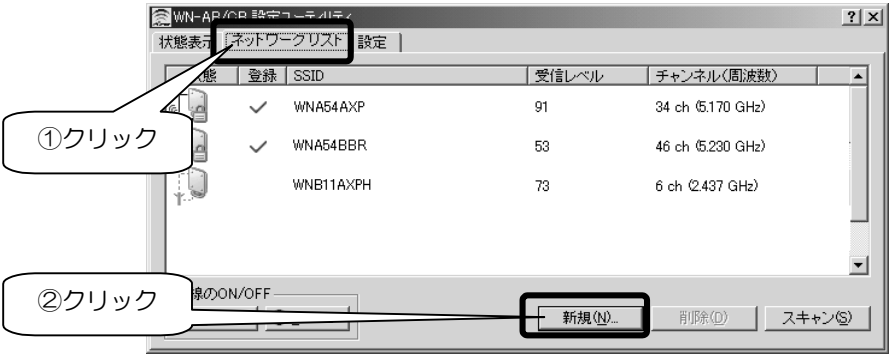
本製品のインジケータが
消灯している場合は…

【困ったときには】の 104 ページをご覧ください。

3 タスクトレイのアイコンをダブルクリックして、設定ユーティリティを表示します。



4 [ネットワークリスト]タブをクリックし、[新規]ボタンをクリックします。



参考

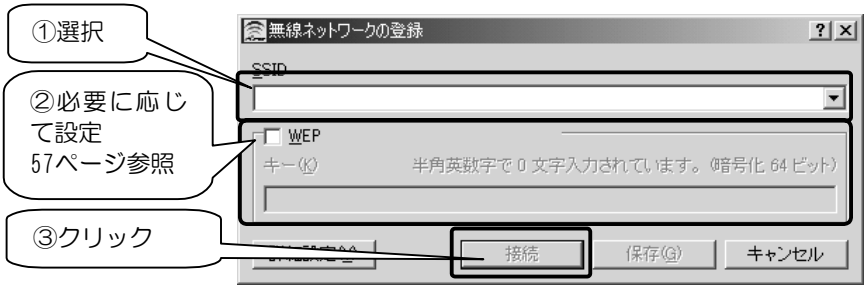
リスト内の接続先を選択すると[新規]ボタンが[編集]ボタンなどに変わります。すでに設定した接続先を編集したり、削除する場合は、【接続を切替/編集/削除する】（65ページ）をご覧ください。

5 設定編集します。

①[SSID]で接続するアクセスポイントのSSIDを選択します。
プルダウンメニューを開くと、接続可能なアクセスポイントのSSIDが表示されます。

②アクセスポイントで暗号化設定している場合は、[WEP]にチェックを付け、キーを入力します。
（詳しくは、【暗号化する】57ページをご覧ください。）

③[接続]ボタンをクリックします。
⇒しばらくお待ちください。



6 WN-AB/CB設定ユーティリティの画面に戻るので、右上の[×]をクリックして、画面を閉じます。

以上で設定は完了です。
ファイルの共有をする場合は、【ファイルを共有する】（81ページ）をご覧ください。

無線LANアダプタのみで通信する

アドホックモード

本製品をアドホックで使用する場合の設定を説明します。

使用環境を確認する

本製品を使用する環境を確認します。

▼

50ページ

Windows XPで設定する

Windows XPで無線LANアダプタのみで通信する（アドホックモード）ための設定をします。

51ページ

Windows 2000/Meで設定する

Windows 2000/Meで無線LANアダプタのみで通信する（アドホックモード）ための設定をします。

54ページ



参考

Administrators権限（管理者権限）のあるユーザのみが設定できます。
Users権限のユーザは、Administrators権限（管理者権限）の
ユーザが設定した内容で通信できます。（設定変更はできません。）

使用環境を確認する

本製品を使用するには、SS IDを決める必要があります。

1 **本製品を使用する環境を、以下から選び、チェックを付けます。**

☐ 新たにネットワークを構築する（１台目の導入）	☐ 既存のネットワークで使用する（追加導入）
2 **SS ID（ESS ID）を決めます。** 半角英数字32文字以内（大/小文字の区別もあり）で、お好きな名前を下に書き込んでください。 例）home	**ネットワーク管理者にSS ID（ESS ID）をご確認ください。** 確認したSS ID（ESS ID）を下に書き込んでください。

▼決めた(確認した)SS ID(ESS ID)を記入してください。

※SS ID(ESS ID)は【②アドホックの設定をする】で使用します。

SS ID(ESS ID)	



参考

●SS IDとは？
複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。SS IDが一致していないとそのネットワークには参加できません。アクセスポイントによっては、SS IDがESS IDと記載されている場合もあります。

Windows XPで設定する

1 本製品を装着したすべてのパソコンの電源を入れます。

本製品のインジケータが、点灯/点滅することを確認してください。

本製品のインジケータが消灯している場合は…

【困ったときには】の 104 ページをご覧ください。

2 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。

3 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。



参考

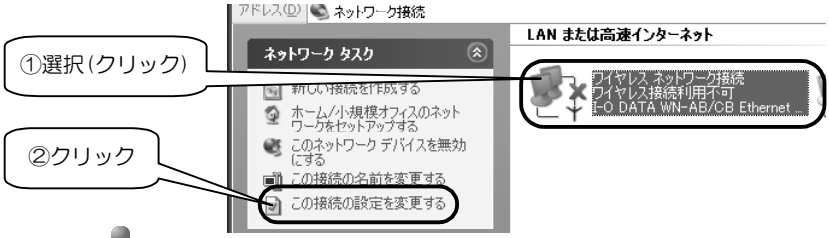
[クラシック表示]の場合は、[ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックして手順5 へお進みください。



4 [ネットワーク接続]をクリックします。



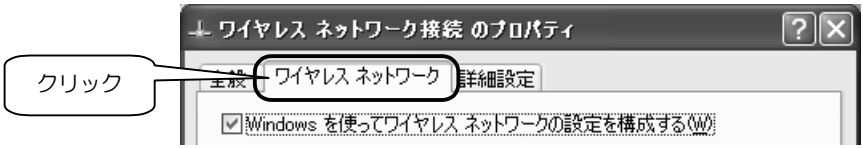
5 インストール済みの[ワイヤレスネットワーク接続]アイコンを選択し、[この接続の設定を変更する]をクリックします。



[ワイヤレスネットワーク接続]が表示されない場合は…

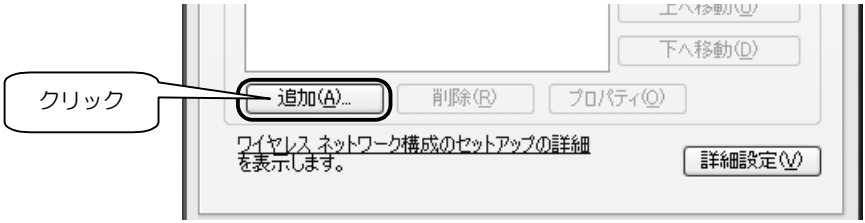
【困ったときには】の 107 ページをご覧ください。

6 [ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ]が表示されますので[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックします。



7 ●1台目の導入の場合

[追加]ボタンをクリックします。



●追加導入の場合

①[利用できるネットワーク]で50ページで確認したSSIDを選択します。

②[構成]ボタンをクリックします。



8 設定編集します。

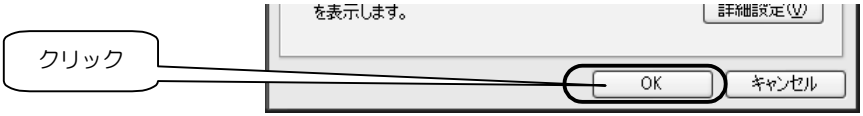
①50ページで決めた（確認した）SSIDを入力します。
②暗号化の設定をする場合は、57ページをご覧ください。
③[これはコンピュータ相互（ad hoc）…]にチェックを付けます。
④[OK]ボタンをクリックします。



9 [ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ]画面で、[優先するネットワーク]に追加したSSIDが表示されていることを確認します。



10 [OK] ボタンをクリックします。

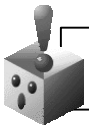


以上で設定は完了です。ファイルの共有をする場合は、【ファイルを共有する】（81ページ）をご覧ください。

Windows 2000/Meで設定する

1 本製品を装着したすべてのパソコンの電源を入れます。

本製品のインジケータが、点灯/点滅することを確認してください。



インジケータが
消灯している場合は…

【困ったときには】の 104 ページをご覧ください。

2 タスクトレイのアイコンをダブルクリックして、設定ユーティリティを表示します。



3 ●1台目の導入の場合

[ネットワークリスト]タブをクリックし、[新規]ボタンをクリックします。



参考

リスト内の接続先を選択すると[新規]ボタンが[編集]ボタンなどに変わります。すでに設定した接続先を編集したり、削除する場合は、【接続を切替/編集/削除する】（65ページ）をご覧ください。

●追加導入の場合

[ネットワークリスト]タブをクリックし、50ページで確認した[SSID]の接続先をクリックして、[編集]ボタンをクリックします。



4 [詳細設定]ボタンをクリックします。



5 設定編集します。

①[Ad hoc]にチェックを付けます。

②●１台目の導入の場合

SSIDに50ページで確認したSSIDを入力します。

●追加導入の場合

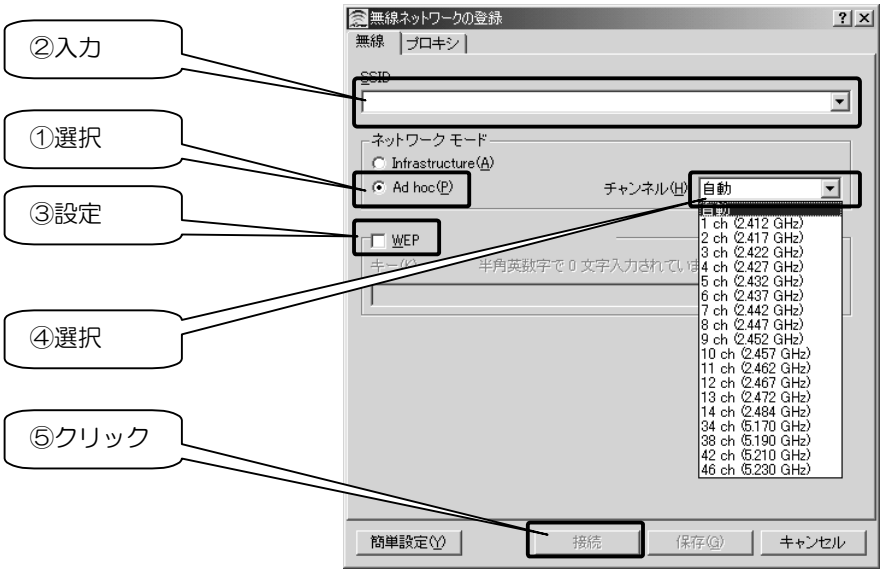
SSIDのプルダウンメニューで50ページで確認したSSIDを選択します。

③暗号化の設定をする場合は、[WEP]にチェックを付け、キーを入力します。（詳しくは、【暗号化する】57ページをご覧ください。）

④１台目の導入の場合は、チャンネルを選択します。

追加導入の場合は、自動的に設定されます。自動に設定して、通信できない場合は、通信相手のチャンネルに合わせてください。

⑤[接続]ボタンをクリックします。→しばらくお待ちください。

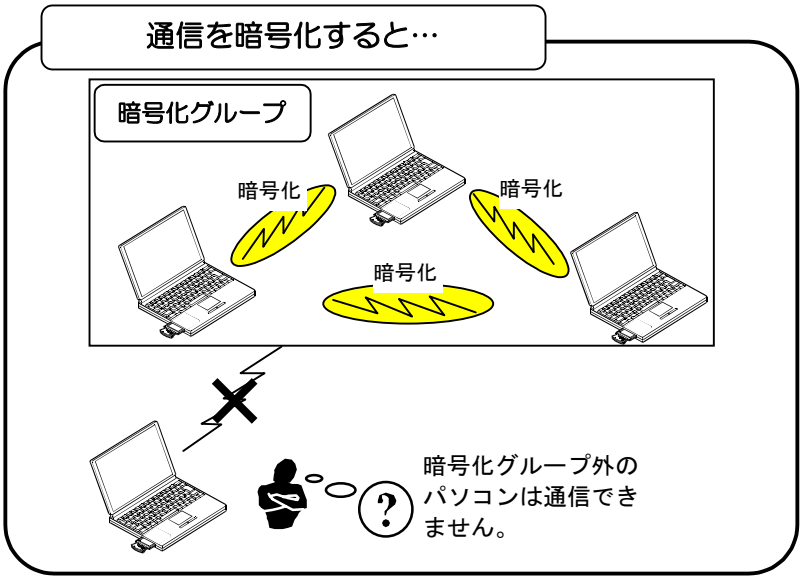


6 WN-AB/CB設定ユーティリティの画面に戻るので、右上の[×]をクリックして、画面を閉じます。

以上で設定は完了です。
ファイルの共有をする場合は、【ファイルを共有する】（81ページ）をご覧ください。

暗号化する

通信時に暗号化していない場合、電波の届く範囲であれば、通信内容を傍受される危険があります。本製品では、無線LANの暗号化の標準であるWEP（Wired Equivalent Privacy）での暗号化を行うことによって、傍受の危険を回避することができます。ここでは、本製品の通信を暗号化する方法を説明します。



注意！

暗号化を行う場合、暗号化して通信するすべてのパソコンで設定が必要です。アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントの暗号キーに合わせてください。

Windows XPで暗号化する

1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。

2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。



参考

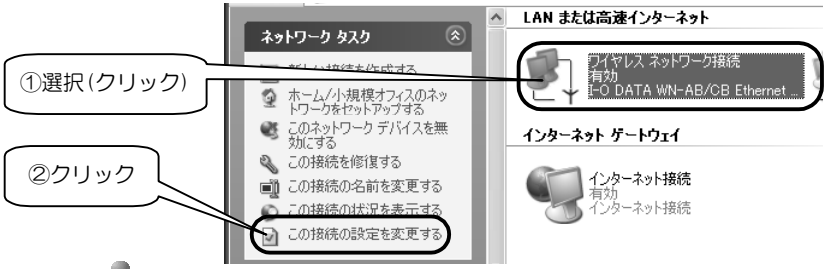
[クラシック表示]の場合は、[ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックして手順4 へお進みください。

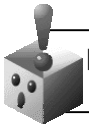


3 [ネットワーク接続]をクリックします。



4 インストール済みの[ワイヤレスネットワーク接続]アイコンを選択し、[この接続の設定を変更する]をクリックします。





[ワイヤレスネットワーク接続]が表示されない場合は…

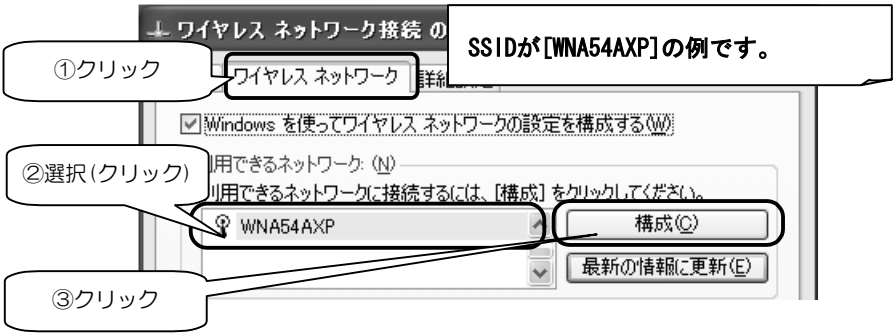
【困ったときには】の107 ページをご覧ください。

5 暗号化設定をするネットワークを選択します。

①[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックします。

②暗号化設定をする接続を選択します。

③[構成]ボタンをクリックします。



6 暗号化の設定をします。

次ページ以降をご覧ください。

▼Windows XP ServicePack1の場合



データの暗号化(WEP有効)	暗号化(WEP)を有効にする場合にチェックを入れます。
ネットワーク認証(共有モード)	共有鍵(シェアードキー)を使用する場合にチェックを入れます。
ネットワークキー	暗号キーを入力します。 入力する文字数は、[キーの長さ]と[ASCII文字]/[16進数]の設定により異なります。 64bit 128bit ASCII文字 5文字 13文字 16進数 10桁 26桁
ネットワークキーの確認入力	[ネットワークキー]で入力した暗号キーと同じものを入力します。
キーのインデックス(詳細)	インデックスを1～4の範囲で指定します。 通常は1を指定します。
キーは自動的に提供される	ネットワークキーがアクセスポイント側から、自動で提供される環境の場合はチェックを入れます。

▼Windows XP ServicePack1以前の場合

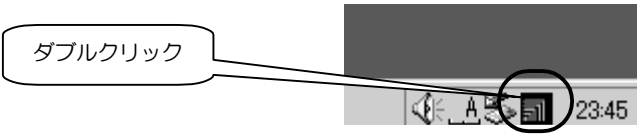


データの暗号化(WEP有効)	暗号化(WEP)を有効にする場合にクリックします。
ネットワーク認証(共有モード)	共有鍵(シェアードキー)を使用する場合にクリックします
ネットワークキー	「キーの形式」に合わせた暗号キーを入力します。
キーの形式	暗号キーの形式を「ASCII文字」「16進数」から選択します。
キーの長さ	暗号キーを入力する長さを ASCII文字の場合 「40ビット(5文字)」「104ビット(13文字)」 16進数の場合 「40ビット(10桁)」「104ビット(26桁)」 から選択します。
キーのインデックス(詳細)	インデックスを0～3の範囲で指定します。 通常は0を指定します。
キーは自動的に提供される	ネットワークキーが提供される環境の場合はチェックを入れてください。

※ServicePack１にアップグレードしていないWindows XPでは、[キー]が、
弊社Web設定の標記と異なります。それぞれ以下のように読み替えてください。
64ビット=40ビット、128ビット＝104ビット
キー0=キー1、キー1=キー2、キー2=キー3、キー3=キー4

Windows 2000/Meで暗号化する

1 **タスクトレイのアイコンをダブルクリックして、設定ユーティリティを表示します。**



2 **[ネットワークリスト]タブをクリックし、暗号化設定する接続を選択し、[編集]ボタンをクリックします。**

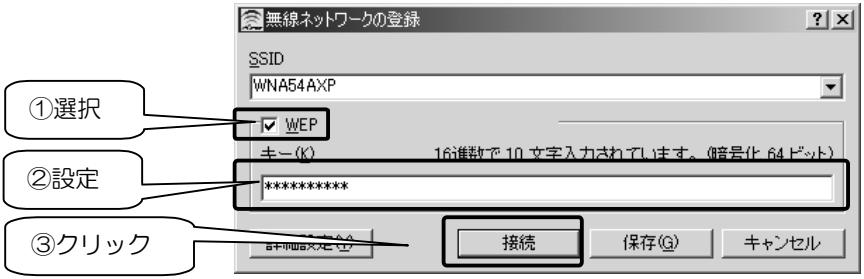


3 **設定編集します。**

①[WEP]にチェックを付けます。

②キーを入力します。（次ページをご覧ください。）

③[接続]ボタンをクリックします。



▼キー

キー	入力する文字数は、[キーの長さ]と[ASCII文字]/[16進数]の設定により異なります。 **画面上に表示される説明は、入力したキーにより変わります。** 16進数で 10 文字入力されています。(暗号化 64 ビット) 64bit 128bit ASCII文字 5文字 13文字 16進数 10桁 26桁 暗号キーはネットワーク（InfrastructureやAd hoc）ごとに設定できます。設定値はネットワーク管理者にご確認ください。



注意！

- **暗号化を行う場合、暗号化で通信するすべてのパソコンで設定する必要があります。**
- **複数の暗号キーを選択できる場合は、キー1 を選択してください。(キー1 のみ有効となります。)**



参考

暗号化の設定レベル（64bit、128bit）が高いほど強固な暗号化になりますが、一般に無線LAN自体の速度は遅くなります。



参考

暗号キー入力方式の異なる他社製品との暗号化について

本製品を含む WN シリーズでは、暗号キーとして 16 進コードでの暗号キー入力方式を採用していますが、他社製品には、５文字の英数字・記号で暗号キーを指定する方式や、文字列から 16 進コードへ変換する際、本製品と変換方式の異なる製品があります。
これらの製品と暗号化を行う場合は、最初に英数字・記号の５文字で暗号キーに使用する文字列を決め、16 進コードを入力できない他社製品はこの５文字の文字列を入力します。
WN シリーズや 16 進コードを入力可能な他社製品にはこの５文字の文字列を下記対応表に基づき、16 進コードに変換したうえで入力することで通信可能となります。
各文字と 16 進コードの対応については下記の表を参照してください。
〈例〉 文字で "WNA54" と設定している場合、下の表と照らし合わせて、16進コードでは [57 4e 41 35 34] となります。

文字	16進
!	21
"	22
#	23
$	24
%	25
&	26
'	27
(	28
)	29
*	2a
+	2b
,	2c
−	2d
.	2e

文字	16進
/	2f
0	30
1	31
2	32
3	33
4	34
5	35
6	36
7	37
8	38
9	39
:	3a
;	3b
<	3c

文字	16進
=	3d
>	3e
?	3f
@	40
A	41
B	42
C	43
D	44
E	45
F	46
G	47
H	48
I	49
J	4a

文字	16進
K	4b
L	4c
M	4d
N	4e
O	4f
P	50
Q	51
R	52
S	53
T	54
U	55
V	56
W	57
X	58

文字	16進
Y	59
Z	5a
[	5b
¥	5c
]	5d
^	5e
_	5f
`	60
a	61
b	62
c	63
d	64
e	65
f	66

文字	16進
g	67
h	68
I	69
j	6a
k	6b
l	6c
m	6d
n	6e
o	6f
p	70
q	71
r	72
s	73
t	74

文字	16進
u	75
v	76
w	77
x	78
y	79
z	7a
{	7b
|	7c
}	7d
~	7e

接続を切替/編集/削除する

Windows 2000/Meでは、設定ユーティリティを利用して、本製品を複数の接続先（アクセスポイントなど）で使用する場合に、簡単に接続先を切り替えることができます。
また、登録した接続を編集したり、削除したりすることができます。

接続を切り替える

クリックするだけで、TCP/IPの設定、プロキシ設定、SSID、WEP、通信方式、使用電波帯域のすべてを切り替えることができます。

66ページ

接続を編集する

編集のできる項目は下記となります。
TCP/IPの設定、プロキシ設定、SSID、WEP、通信方式、使用電波帯域

67ページ

設定を削除する

登録した接続を削除します。

72ページ

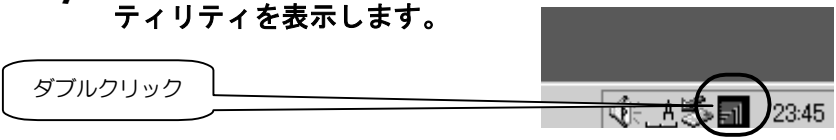


参考

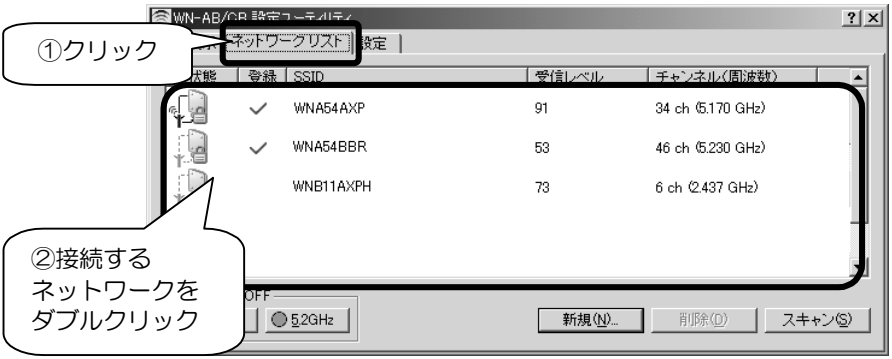
Administrators権限（管理者権限）のあるユーザのみが設定できます。
Users権限のユーザは、Administrators権限（管理者権限）のユーザが設定した内容で通信できます。（設定変更はできません。）

接続を切り替える

1 **タスクトレイのアイコンをダブルクリックして、設定ユーティリティを表示します。**



2 **[ネットワークリスト]タブをクリックし、接続するネットワークをダブルクリックします。**



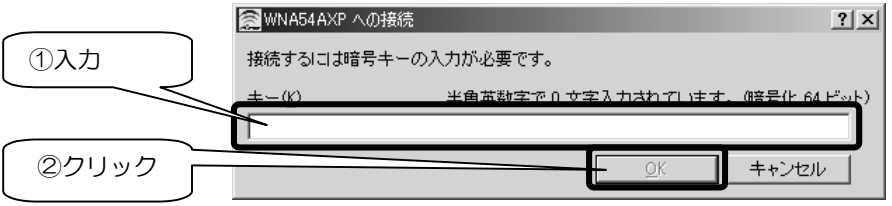
3 **選んだネットワークが…**

⇒すでに登録されている場合

自動で切り替わります。

⇒登録されていないネットワークの場合

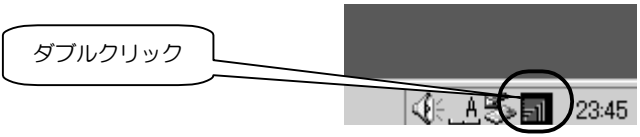
WEPの設定があるときは、下記の画面が表示されます。接続先の暗号キーを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



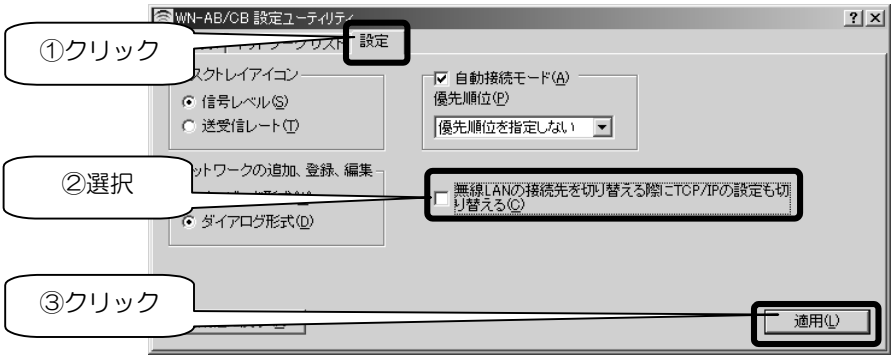
以上で接続が切り替わりました。

接続を編集する

1 タスクトレイのアイコンをダブルクリックして、設定ユーティリティを表示します。



2 TCP/IPを設定する場合は、[設定]タブをクリックし、[無線LANの接続を切り替え…]にチェックを付け、[適用]ボタンをクリックします。



3 [ネットワークリスト]タブをクリックし、編集したい接続をクリックし、[編集]ボタンをクリックします。



4 設定編集します。

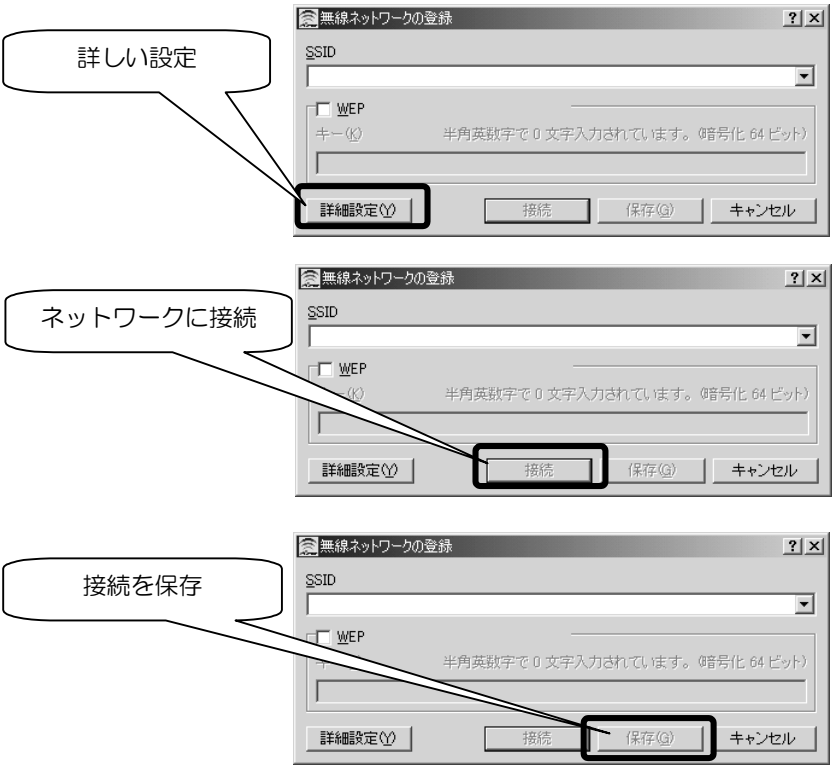
ここでは、SSIDとWEPの設定ができます。



5 詳細設定（TCP/IP、プロキシ、Ad hocの設定）をする場合は、[詳細設定]ボタンをクリックします。

[接続]ボタンをクリックすると、編集中のネットワークに接続します。

[保存]ボタンをクリックすると、接続を保存して、編集を終了します。



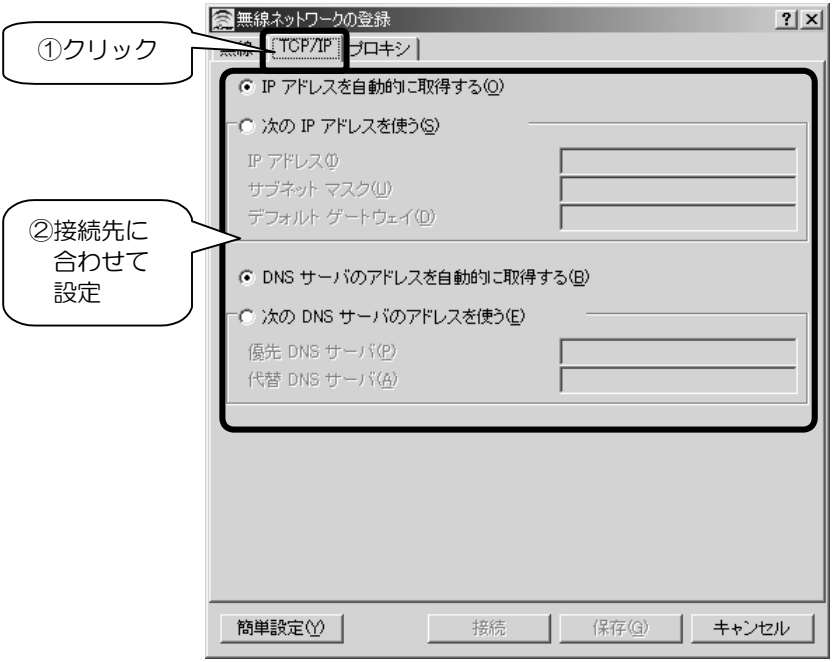
6 設定をします。

●TCP/IPの設定をする

①[TCP/IP]タブをクリックします。

②接続先に合ったTCP/IPの設定をします。

設定する値については、接続先のネットワーク管理者にご確認ください。



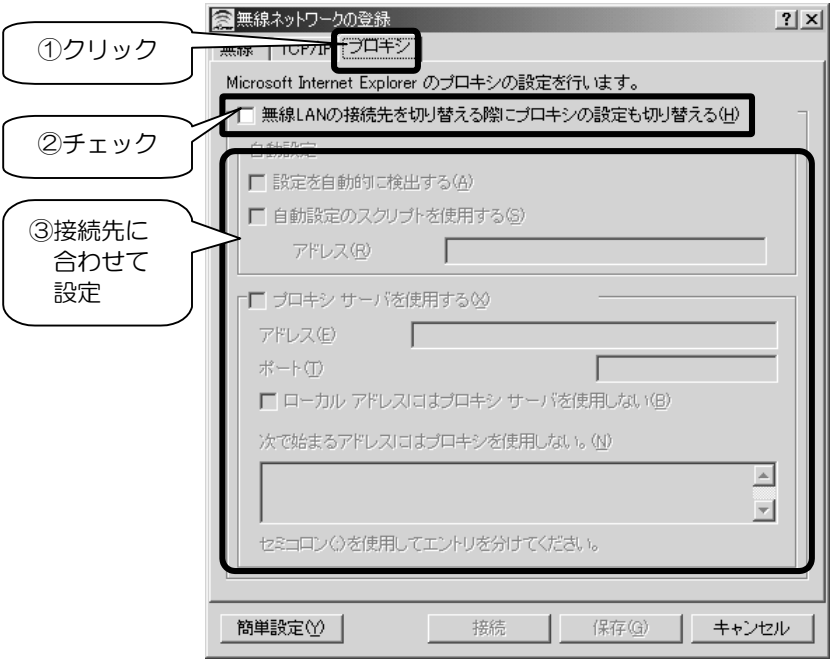
●プロキシの設定をする

①[プロキシ]タブをクリックします。

②[無線LANの接続先を…]にチェックを付けます。

③接続先に合ったプロキシの設定をします。

設定する値については、接続先のネットワーク管理者にご確認ください。



●Ad hocの設定をする（Infrastructureの場合は必要ありません）

①[無線]タブをクリックします。

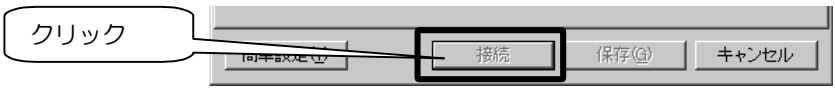
②接続先に合ったAd hocの設定をします。

設定する値については、接続先のネットワーク管理者にご確認ください。



7 設定が終わったら、[接続]ボタンをクリックします。

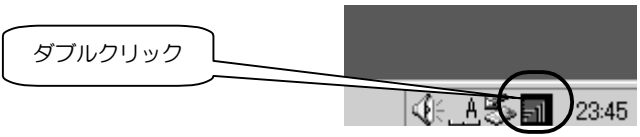
[保存]ボタンをクリックすると、設定した内容を保存します。



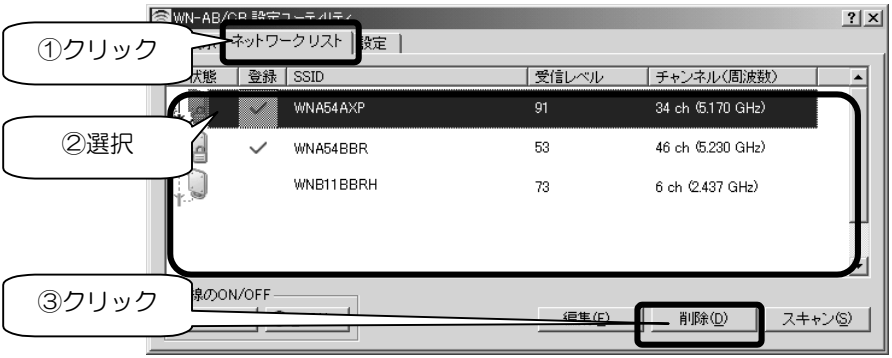
以上で設定ができました。

接続を削除する

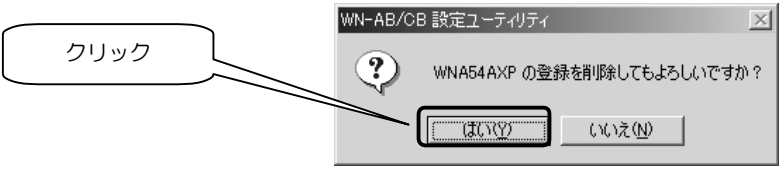
1 **タスクトレイのアイコンをダブルクリックして、設定ユーティリティを表示します。**



2 **[ネットワークリスト]タブをクリックし、削除したい接続を選択して、[削除]ボタンをクリックします。**



3 **[はい]ボタンをクリックします。**



以上で接続が削除されました。

設定ユーティリティを使う

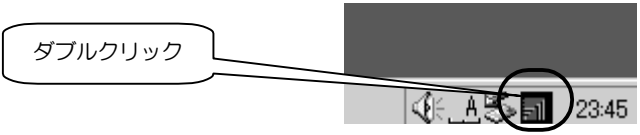
設定ユーティリティの機能を説明します。

参考

Administrators権限（管理者権限）のあるユーザのみが設定できます。
Users権限のユーザは、Administrators権限（管理者権限）のユーザが設定した内容で通信できます。（設定変更はできません。）

設定ユーティリティ起動する

タスクトレイのアイコンをダブルクリックして、設定ユーティリティを表示します。



参考

・アイコンを右クリックして、[終了]を選ぶとユーティリティの常駐を終了します。
・受信レベルなどにより、以下のようにアイコンが変化します。

アイコン	内容
	67%～100% ： 非常に強い
	34%～66% ： 普通
	1%～33% ： 弱い
（黄色）	通信圏外
	カード非装着 本製品が正しく認識されていない、または無効になっている。
	Ad hocモードで通信中
	送受信レートの表示 左（赤）：受信レート 右（緑）：送信レート

[状態表示]タブ



 **（アイコン）**	現在の通信状態を図示します。詳しくは、78ページをご覧ください。
SSID	接続中の無線ネットワークに固有のIDが表示されます。
チャンネル	使用中の通信チャンネルと周波数が表示されます。
受信レベル	電波の受信状態（強度）がバーグラフで表示されます。
IPアドレス	コンピュータが使用しているIPアドレスが表示されます。
送信フレーム数	送信したフレームの総数が表示されます。
受信フレーム数	受信したフレームの総数が表示されます。
リンク送信レート	送信したフレームのレートが表示されます。
リンク受信レート	受信したフレームのレートが表示されます。
実測送信レート	現在の送信レートの実測値と、これまでの最大送信レートの実測値が表示されます。
実測受信レート	現在の受信レートの実測値と、これまでの最大受信レートの実測値が表示されます。
無線のON/OFF	［2.4GHz］ボタン 2.4GHz無線の有効／無効を切り替えます。 有効の場合は緑の○印が、無効の場合はグレーの○印が表示されます。 ［5.2GHz］ボタン 5.2GHz無線の有効／無効を切り替えます。 有効の場合は緑の○印が、無効の場合はグレーの○印が表示されます。
ストリーミングモード 【Windows XPのみ表示されます。】	動画などの大容量のデータを転送するのに適したモードの有効／無効を切り替えます。 ボタンがへこんで見える状態のときは有効、へこんで見えない状態のときは無効です。 **注意：電波状況の悪いところでは無効にしておくことをお勧めします。**

[状態表示]タブ（つづき）

IP更新	お使いのコンピュータに割り当てられているIPアドレスをいったん解放し、新しいIPアドレスを取得する場合にクリックします。 ※注意 コンピュータに固定のIPアドレスが設定されている場合は、このボタンは使用できません。 またWindows Meでお使いの場合このボタンは無効になります。 Windows Meのコンピュータで無線LAN PCカードに割り当てるIPアドレスを再取得するには、以下の手順を行って下さい。 ①［スタート］メニューから、［ファイル名を指定して実行］を選択します。 ②“winipcfg”と入力し、［OK］をクリックします。 ③「IP 設定」ダイアログボックスが表示されます。 ドロップダウンリストから、お使いの無線LAN PCカードを選択します。 ④［解放］をクリックします。 ⑤［書き換え］をクリックします。 ⑥「×」 をクリックします。「IP 設定」ダイアログボックスが閉じます。 以上で、コンピュータのIPアドレスが再取得されます。
AP設定	Infrastructureモードで接続中の場合、このボタンをクリックするとWebブラウザが起動し、アクセスポイントの設定をしたりネットワークの状態をモニタしたりすることができます。 ※注意 ［AP設定］ボタンは、弊社製無線LANブロードバンドルータWN-A54/BBR,無線LANアクセスポイントWN-A54/AXPのときのみ使用できます。
グラフ表示	クリックすると、通信状態を表すグラフの表示／非表示を切り替えます。次ページをご覧ください。

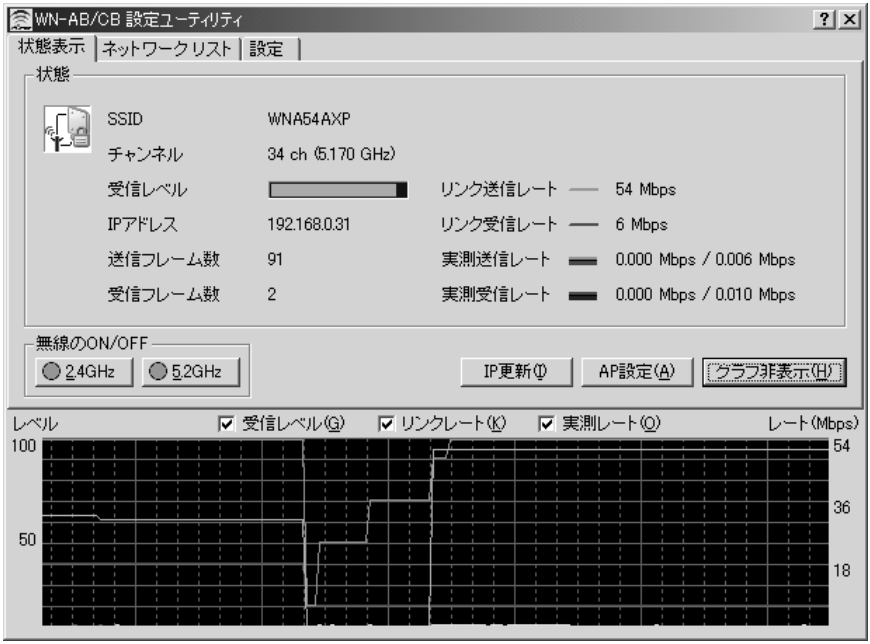


注意！

本製品を屋外で使用する場合は、あらかじめ[無線の ON/OFF]で、[5.2GHz]を OFF にしてください。

[状態表示]タブ（つづき）

▼グラフ表示ボタンをクリック後



受信レベル	チェックすると、電波の受信レベル（強度）が水色の実線でグラフに表示されます。
リンクレート	チェックすると、送信したフレームのレートを緑色の実線で、受信したフレームのレートを赤色の実線でグラフに表示されます。
実測レート	チェックすると、現在の送信レートの実測値が緑色の点線で、受信レートの実測値が赤色の実線でグラフに表示されます。

[ネットワークリスト]タブ



状態	現在の通信状態を図示します。詳しくは、次ページをご覧ください。
登録	登録済みのネットワークに、赤いチェックマークが表示されます。
SSID	ネットワークに固有のIDが表示されます。
受信レベル	電波の受信状態（強度）が数字で表示されます。
チャンネル（周波数）	ネットワークが使用する通信チャンネルと周波数が表示されます。
無線のON/OFF	74ページの[無線のON/OFF]をご覧ください。
新規/登録/編集 【Windows XPの場合、表示されません。】	［新規］ボタン ネットワークリストで何も選択されていないときに表示されます。クリックすると、無線ネットワークの新規登録を行うことができます。（登録ネットワーク数が32を超えると無効になります。） ［登録］ボタン ネットワークリストで未登録のネットワークが選択されているときに表示されます。クリックすると、選択されている無線ネットワークの登録を行うことができます。（登録ネットワーク数が32を超えると無効になります。） ［編集］ボタン ネットワークリストで登録済みのネットワークが選択されているときに表示されます。クリックすると、選択されている無線ネットワークの登録内容を編集することができます。
削除 【Windows XPの場合、表示されません。】	選択されている無線ネットワークを削除します。
スキャン	通信圏内の無線ネットワークを再検索し、ネットワークリストの表示を更新します。

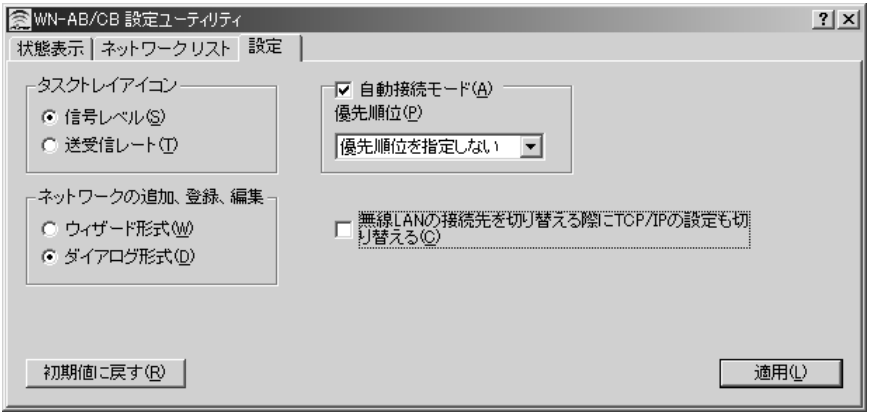
[ネットワークリスト]タブ（つづき）

参考

[状態表示]タブや[ネットワークリスト]タブのアイコンは、下記のような意味があります。

アイコン	モード	WEP	通信
	Infrastructure	有効	通信可
	Infrastructure	無効	通信可
	Infrastructure	有効	通信中
	Infrastructure	無効	通信中
 （灰色表示）	Infrastructure	有効	通信圏外
 （灰色表示）	Infrastructure	無効	通信圏外
	Ad hoc	有効	通信可
	Ad hoc	無効	通信可
	Ad hoc	有効	通信中
	Ad hoc	無効	通信中
 （灰色表示）	Ad hoc	有効	通信圏外
 （灰色表示）	Ad hoc	無効	通信圏外

[設定]タブ



タスクトレイアイコン	［信号レベル］ 電波の受信レベルを示すアイコンをタスクトレイに表示します。73ページをご覧ください。 ［送受信レート］ 実測値のデータ送受信レートを示すアイコンをタスクトレイに表示します。実測送信レートを緑色、実測受信レートを赤色の棒グラフで表示します。73ページをご覧ください。
ネットワークの追加、登録、編集 【Windows XPをお使いの場合無効となります】	［ウィザード形式］ 簡単設定ウィザードを使って表示される質問に答える形式で設定を行います。 ［ダイアログ形式］ 設定ダイアログボックスを使って設定を行います。
自動接続モード 【Windows XPの場合、無効となります】	［自動接続モード］ チェックボックスをチェックすると、ネットワークとの接続が切断された場合に、登録されているネットワークの中で最も電波の強いネットワークに自動的に接続します。 ［優先順位］ 「優先順位を指定しない」、「2.4GHz 帯を優先する」、「5.2GHz 帯を優先する」から自動接続するネットワークの優先順位を選択します。
無線LANの接続先を切り替える際にTCP/IPも切り替える 【Windows XPの場合、無効となります】	チェックすると無線LANの接続先を切り替える際に、TCP/IPの設定を無線ネットワークの登録画面の［詳細設定］で設定した値に切り替えます。詳しくは67ページをご覧ください。
初期値に戻す	［設定］タブの各設定を初期値に戻します。
適用	入力した各設定を適用します。

MEMO

ファイルを共有する

ここでは、LAN内でファイルを共有するときの設定例を説明します。

IPアドレスを確認する

ネットワーク上のすべてのパソコンには別々のIPアドレスが必要です。
ここでは、お使いのパソコンに設定するIPアドレスを確認します。

ネットワーク管理者にIPアドレスをご確認ください。
確認したIPアドレスを下に書き込んでください。
（詳しくは、【IPアドレス設定例】（96ページ）、【IPアドレスのクラス】（97ページ）をご覧ください。）

▼確認した(決めた)IPアドレスを記入してください。

IP アドレス	. . .

お使いのパソコンのOSごとに、このあとの設定方法が異なります。以下の必要なページのみご覧ください。

●Windows XPでご使用の場合
⇒【Windows XP】（次ページ）

●Windows 2000でご使用の場合
⇒【Windows 2000】（86ページ）

●Windows Meでご使用の場合
⇒【Windows Me】（91ページ）



注意！

- 本書では、設定するプロトコルとして［TCP/IP］についてのみ説明しています。
- 弊社では、本製品が正しく動作し、ファイルやプリンタの共有が確認できるまでをサポート範囲としております。

Windows XP

1 **[スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。**

2 **[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。**



参考

[クラシック表示]の場合は、[ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックして手順4へお進みください。



3 **[ネットワーク接続]をクリックします。**



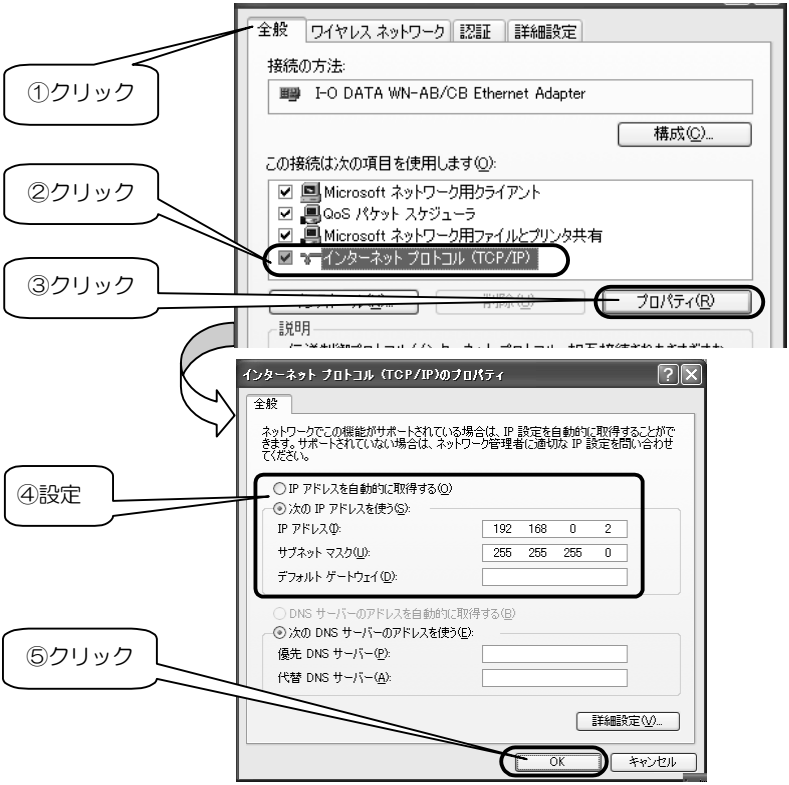
4 **[ネットワーク接続]では、インストール済みの[ワイヤレスネットワーク接続]アイコンが表示されますのでアイコンを選択後、[この接続の設定を変更する]をクリックします。**



Windows XP（つづき）

5 **IPアドレスの設定を行います。**

①［全般］タブをクリックします。
②［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をクリックします。
③［プロパティ］ボタンをクリックします。
④【IPアドレスを確認する】（81ページ）で確認したIPアドレスを入力します。
⑤設定後、［OK］ボタンをクリックします。
⑥［ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。



Windows XP（つづき）

6 **[詳細設定]メニューの[ネットワークＩＤ]をクリックします。**

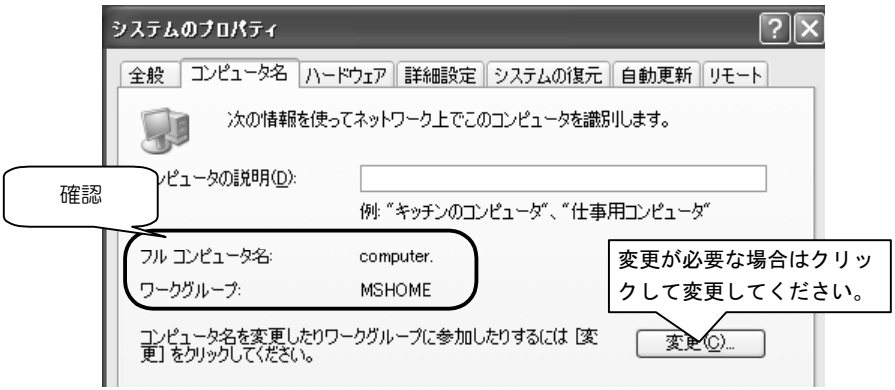


7 **［フル コンピュータ名］と［ワークグループ］が以下となっていることを確認してください。**

フル コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

※相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。

変更が必要な場合は、[変更]ボタンをクリックしてください。

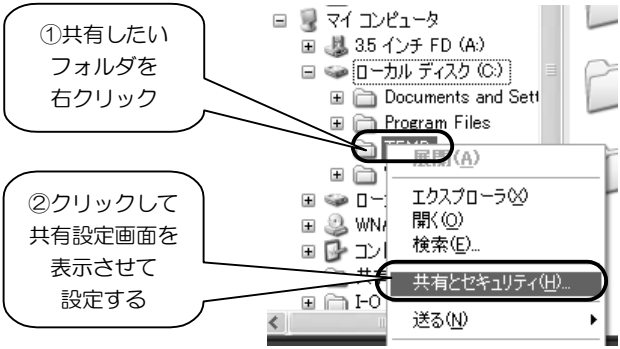


Windows XP（つづき）

8 **このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。**

詳細はWindows XPのヘルプを参照してください。

例：エクスプローラ上からの共有の設定



9 **後は、［マイネットワーク］→［近くのコンピュータ］を順にダブルクリックすれば、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名等が表示されます。**



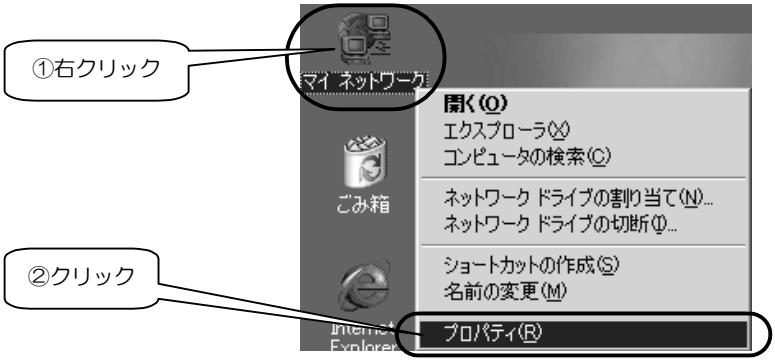
他のコンピュータ名が表示されない場合は…

【困ったときには】の 109 ページをご覧ください。

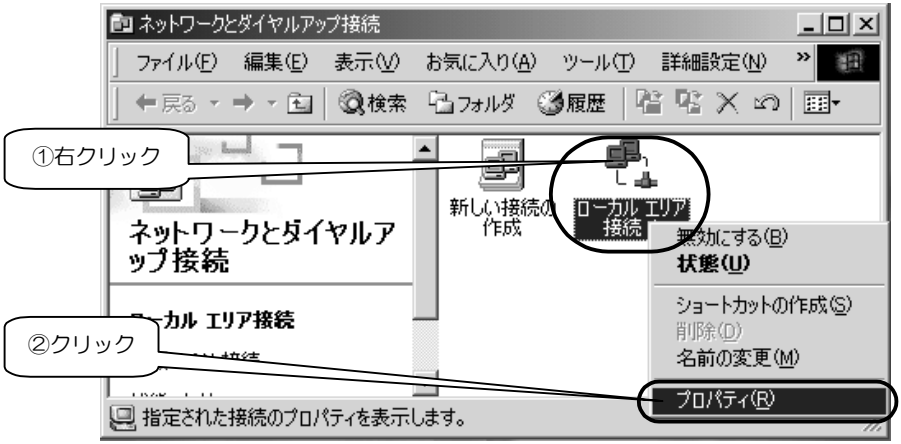
以上で設定は完了です。

Windows 2000

1 **[マイ ネットワーク]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。**



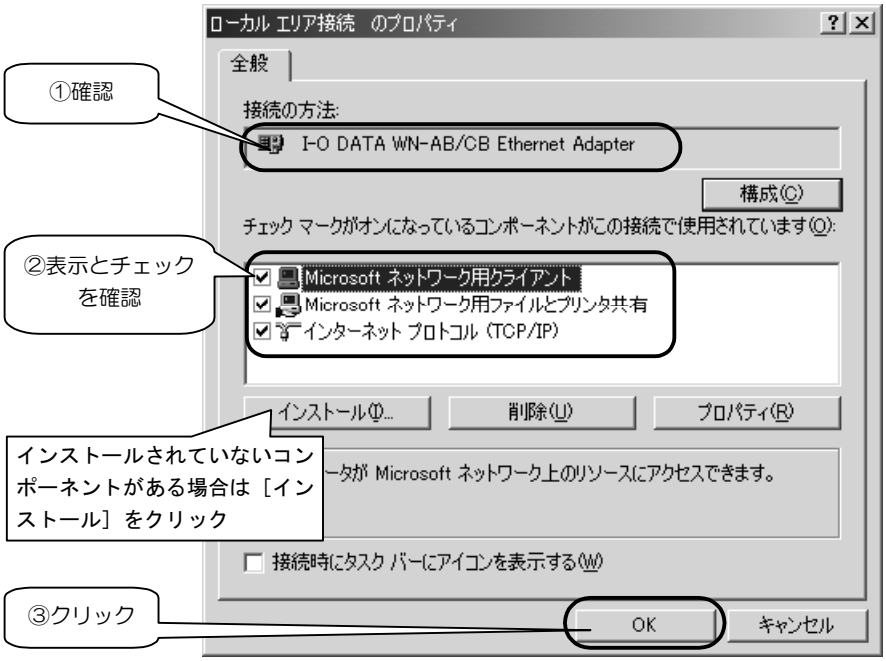
2 **[ローカルエリア接続]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。**



Windows 2000（つづき）

3 **以下が表示され、チェックされていることを確認します。**
確認後、［OK］ボタンをクリックします。

① ［I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter］の表示
② ［Microsoftネットワーク用クライアント］のチェック
［Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有］のチェック
［インターネットプロトコル（TCP/IP）］のチェック
③ ［OK］ボタンをクリックします。



Windows 2000（つづき）

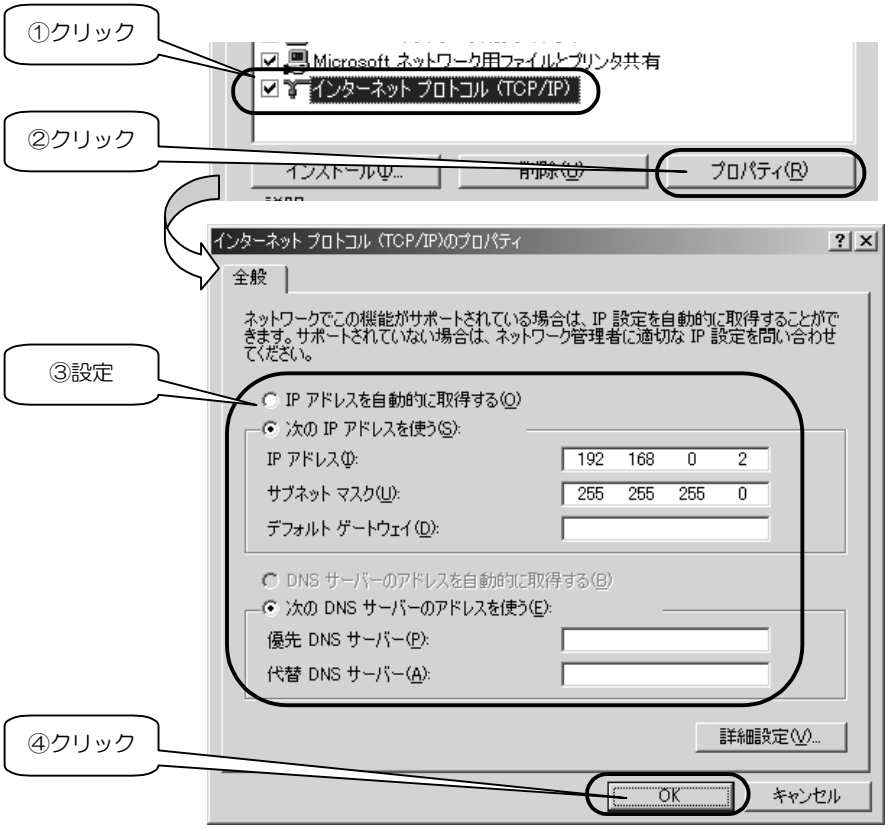
4 IPアドレスを設定します。

①［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をクリックします。

②［プロパティ］ボタンをクリックします。

③【IPアドレスを確認する】（81ページ）で確認したIPアドレスを入力します。

④［OK］ボタンをクリックします。



Windows 2000（つづき）

5 **[詳細設定]メニューの[ネットワークＩＤ]をクリックします。**

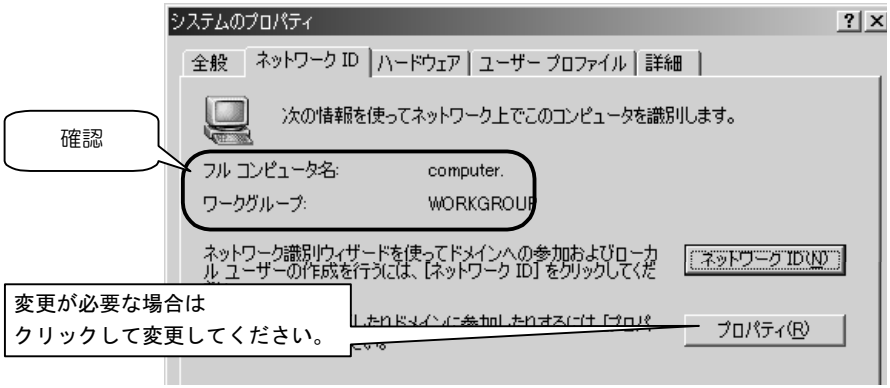


6 **［フル コンピュータ名］と［ワークグループ］が以下となっていることを確認してください。**

フル コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

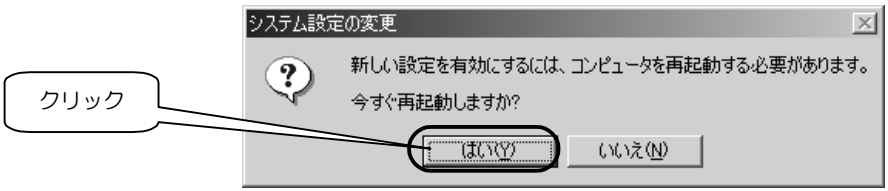
※相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。

変更が必要な場合は、[プロパティ]ボタンをクリックして、変更してください。



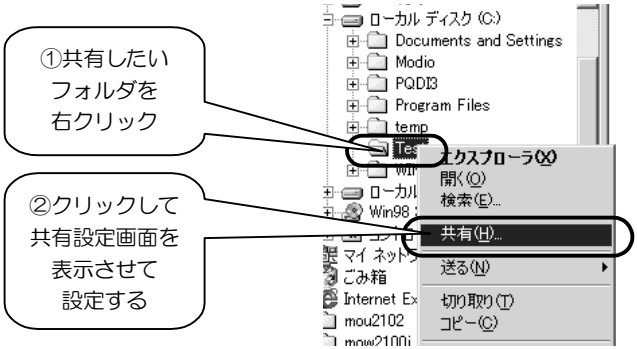
Windows 2000（つづき）

7 **[はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。**

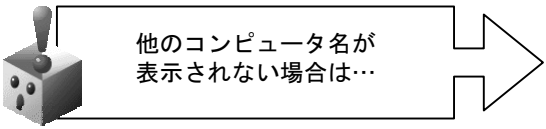


8 **このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。**（詳細はWindows 2000のヘルプを参照してください。）

（エクスプローラ上からの共有の設定）



9 **［マイネットワーク］→［近くのコンピュータ］を順にダブルクリックすれば、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名等が表示されます。**

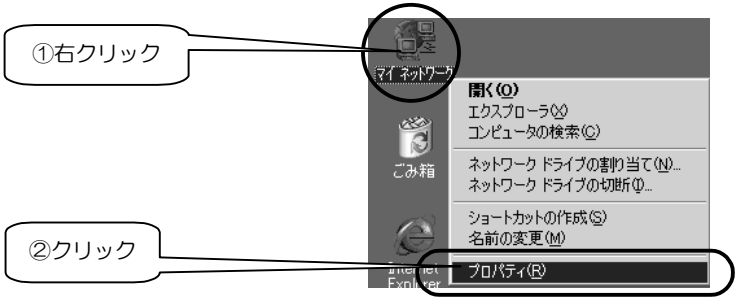


【困ったときには】の 109 ページをご覧ください。

以上で設定は完了です。

Windows Me

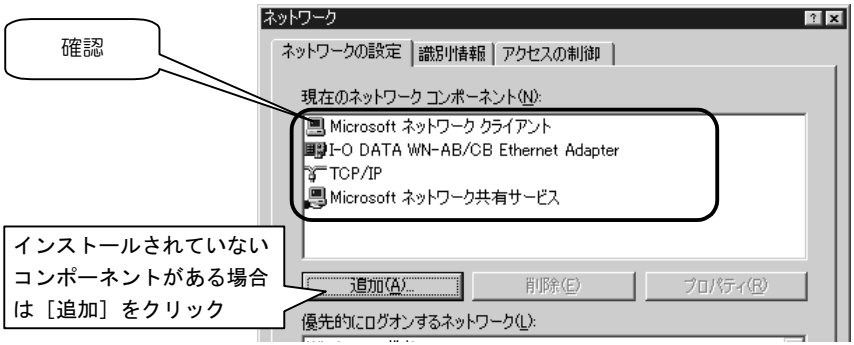
1 **[マイ ネットワーク]（ネットワークコンピュータ）を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。**



2 **以下（のコンポーネント）が表示されているかを確認します。**

- [Microsoftネットワーククライアント]
- [I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter]
- [TCP/IP]
- [Microsoftネットワーク共有サービス]

※［TCP/IP］と表示されずに、［TCP/IP->I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter］と表示されている場合もあります。





［I-O DATA WN-AB/CB····］が表示されていない場合は…

【困ったときには】の 108 ページをご覧ください。

Windows Me（つづき）

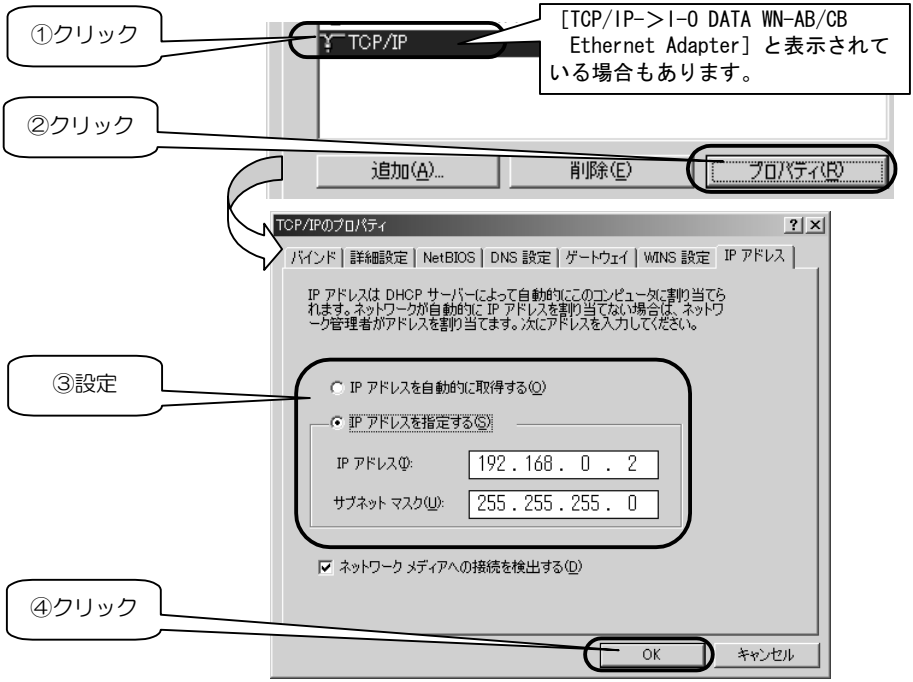
3 IPアドレスを設定します。

① [TCP/IP] （あるいは [TCP/IP->I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter] ）をクリックします。

② [プロパティ] ボタンをクリックします。

③【IPアドレスを確認する】（81ページ）で確認したIPアドレスを入力します。

④ [OK] ボタンをクリックします。





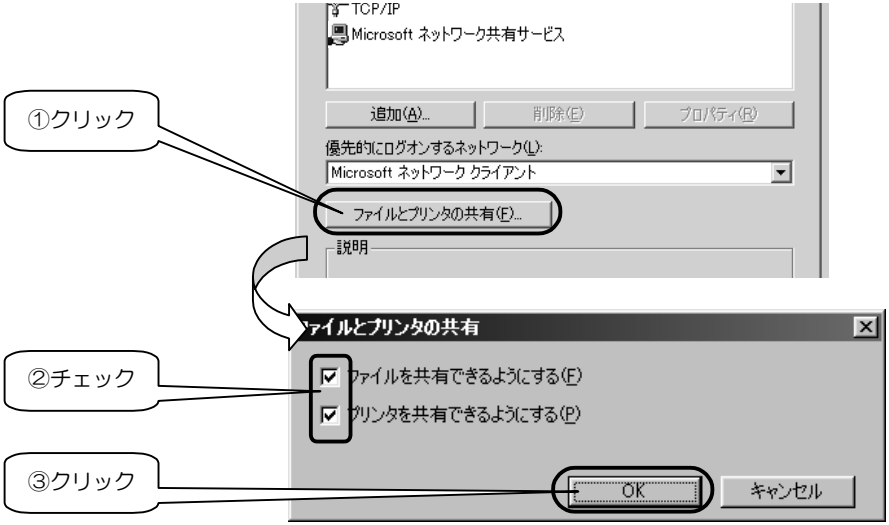
[TCP/IP－>xxxxxxxxx]
は複数表示されているのに、
[TCP/IP－>I-O DATA WN-AB/CB…]
の表示が無い場合は…

【困ったときには】の 114 ページをご覧ください。

Windows Me（つづき）

4 このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。

［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックし、共有したい項目をチェックします。チェック後、［OK］ボタンをクリックします。

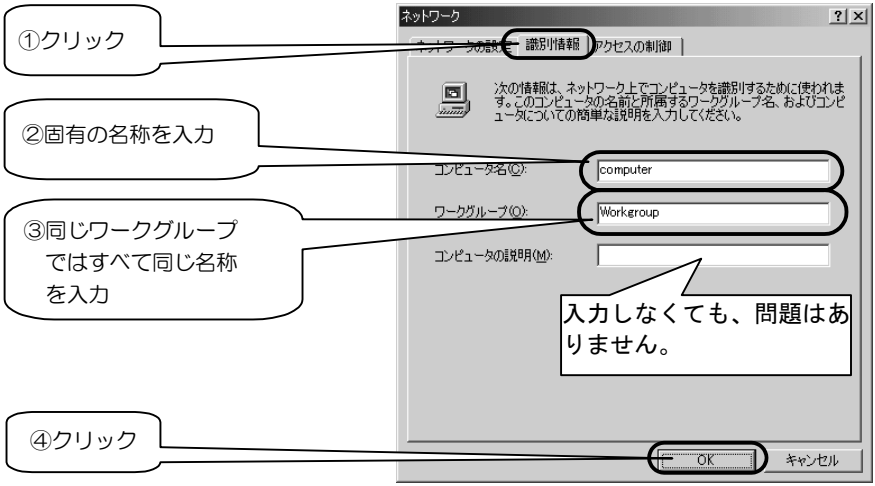


Windows Me（つづき）

5 **［識別情報］タブをクリックして、［コンピュータ名］と［ワークグループ］に以下を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。**

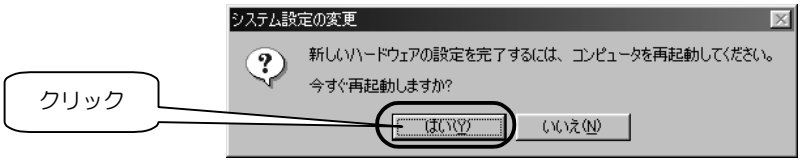
コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。



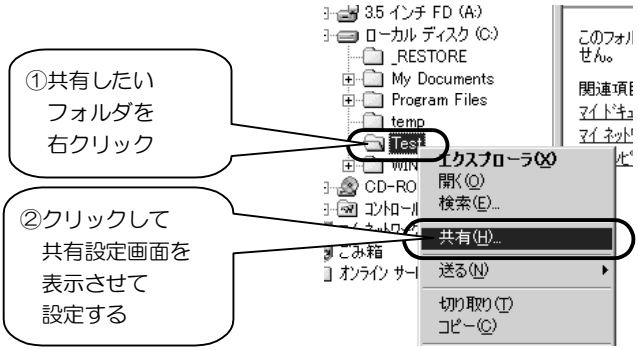
Windows Me（つづき）

6 **[はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。**



7 **このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。**（詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。）

（エクスプローラ上からの共有の設定）



8 **［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）をダブルクリックすれば、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名が表示されます。**



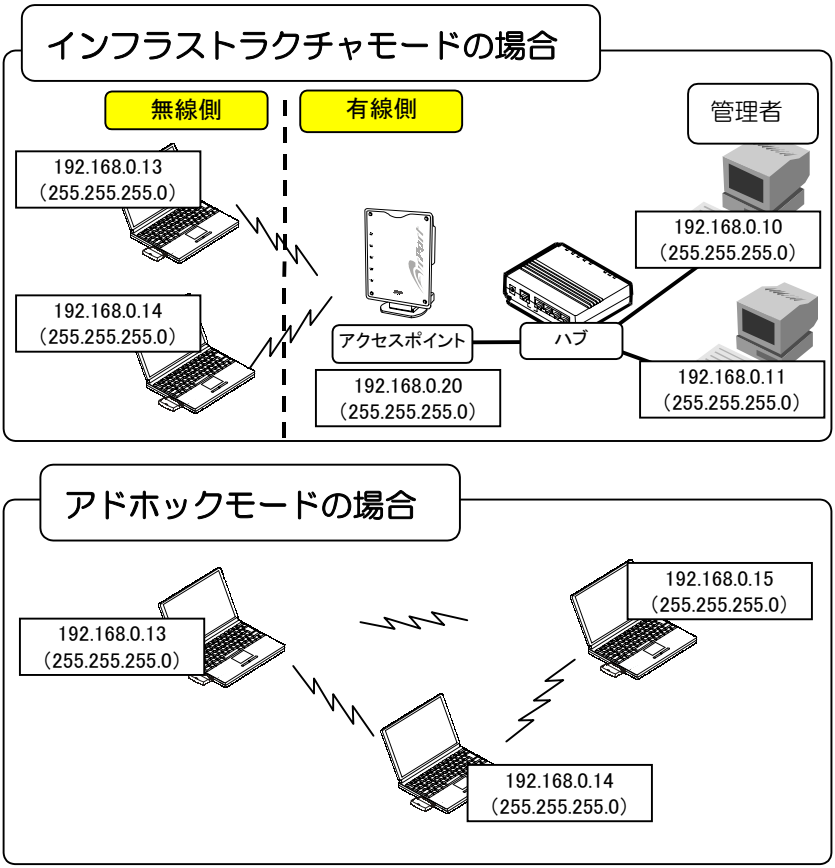
他のコンピュータ名が
表示されない場合は…

【困ったときには】の 109 ページをご覧ください。

以上で設定は完了です。

IPアドレスの設定例

内の上段はIPアドレス
内の下段はサブネットマスク



参考

上図は、IP アドレスを固定した場合の例です。自動取得に設定している場合で、DHCP サーバーが存在しない場合は、「169.254.xxx.xxx」というアドレスが自動生成されます。

IPアドレスのクラス

IPアドレスは、ネットワークを構成するパソコンの台数に応じて、３つのクラスに分かれます。
大規模なネットワークならば［クラスＡのIPアドレス］、中規模なら［クラスＢのIPアドレス］、小規模の場合は［クラスＣのIPアドレス］となります。
同一のネットワーク内では、同一クラスのIPアドレスである必要があります。
実際には、IPアドレスは、ピリオドで区切られた４つの数字の羅列で構成されていて、４つのうち最初の数字で、クラスが分けられます。



クラスは以下のように分類されています。

IP アドレスの最初の数字※	クラス	用途（ネットワークを構成するパソコンの台数）
１～１２６	クラスＡ	大規模ネットワーク用（最大約 1600 万台）
１２８～１９１	クラスＢ	中規模ネットワーク用（最大約 65000 台）
１９２～２２３	クラスＣ	小規模ネットワーク用（最大 254 台）

※「127、224～255」は通常の IP アドレスとしては使われていません。

例えば、数台～数十台で構成されるネットワークでは、クラスＣのIPアドレスを使用します。
通常、ネットワークを構成する場合は、以下の特別なローカルIPアドレスを使用します。

クラス	設定する IP アドレス
クラスＡ	10. 0. 0. 0 ～ 10. 255. 255. 255
クラスＢ	172. 16. 0. 0 ～ 172. 31. 255. 255
クラスＣ	192. 168. 0. 0 ～ 192. 168. 255. 255

IPアドレスの設定の確認

パソコンに設定しているIPアドレスの確認や、パソコン間での正常な通信（接続）の確認は、Windows標準のコマンドで行うことができます。

●設定したIPアドレスの確認方法

・Windows XPの場合

1. ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］をクリックします。
2. IPCONFIG /ALL と入力し、［ENTER］キーを押します。
3. IPアドレスが正常に表示されるか確認してください。

・Windows 2000の場合

1. ［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］をクリックします。
2. IPCONFIG /ALL と入力し、［ENTER］キーを押します。
3. IPアドレスが正常に表示されるか確認してください。

・Windows Meの場合

1. ［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックします。
2. ［名前］に WINIPCFG を入力し、［OK］ボタンをクリックします。
3. お使いのアダプタを選択し、IPアドレスが正常に表示されるか確認してください。
   ［IPアドレス］が「0.0.0.0」と表示された場合は、正常にIPアドレスが設定されていません。

●通信や接続が正しくできるかの確認方法（PINGコマンド）

Windows標準のPINGコマンドを使用して相手先のパソコンに正常に通信、あるいは接続が正常かを確認することができます。



注意！

以下で使用するPINGコマンドを使用するには、パソコンにTCP/IPがインストールされている必要があります。

1 [MS-DOSプロンプト]（またはコマンドプロンプト）を起動します。

・Windows XPの場合
　[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→
　[コマンドプロンプト]を順にクリックして起動します。

・Windows 2000の場合
　[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→
　[コマンドプロンプト]を順にクリックして起動します。

・Windows Meの場合
　[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→
　[MS-DOSプロンプト]を順にクリックして起動します。

2 以下のように入力し、[ENTER]キーを押します。

PING xxx.xxx.xxx.xxx（xxx.xxx.xxx.xxxは相手先のIPアドレス）

入力例）　相手先のIPアドレスが「192.168.0.10」の場合は
　以下のように入力します。
　PING　192.168.0.10

3 正常に相手先が表示されるか確認してください。

正常なら「Reply from xxx.xxx.xxx.xxx」などと表示されます。
正常に接続されない場合、「Request timed out」や「Destination host unreachable」などと表示されます。

MEMO

その他

困った時には

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。 102ページ

本製品を取り外す

本製品の取り外す方法です。 117ページ

本製品を削除する（アンインストール）

インストールした情報を削除します。 118ページ

用語解説

用語について説明します。 122ページ

仕様

本製品の仕様です。 125ページ

アフターサービス

本製品の問い合わせ先、修理先です。 126ページ

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

状態	参照ページ
本製品を取り付けてもインジケータが点灯/点滅しない	104
［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter］が表示されない	104
CD-ROMドライブがない、または、PCカード接続のCD-ROMドライブを使っているのでインストールできない	105
・本製品が正常に動作しない ・［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter］の頭に、！マークがついている	107
［ネットワーク］画面で、［I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter］が表示されない	108
無線LAN接続できない	109

状態	参照ページ
［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）に、他のコンピュータ名が表示されない	109
設定ユーティリティがインストールできない	111
パソコンが起動しない	111
「レジューム」「ハイバネーション」「スタンバイ」の後、動作が不安定になる	112
（Windows Meのみ） ［ネットワークパスワードの入力］画面が表示されない	113
（Windows Meのみ） デスクトップに、［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）アイコンが表示されない	113
（Windows Meのみ） ［ネットワーク］画面に、 [TCP/IP－＞xxxxxxxx]は複数表示されているのに、 [TCP/IP－＞I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter] が表示されていない	114
（Windows Meのみ） [マイネットワーク]または[ネットワークコンピュータ]アイコンをダブルクリックしてもワークグループ名アイコンや他のパソコンが表示されない。	114

トラブルの状態と対処

本製品を取り付けてもインジケータが点灯/点滅しない

原因１	本製品を取り付けているPCカードスロットが不安定である。
対処１	別のPCカードスロットに取り付けてみてください。
対処２	ランプが点灯/点滅しない場合は、［設定ユーティリティのインストール］をダブルクリックする前に、一度パソコンを再起動してください。
原因２	パソコン側のパワーマネジメント（省電力）機能がONになっている。
対処	本製品を取り外してから、パワーマネジメント機能をOFFにします。再度、本製品を取り付けてください。パワーマネジメント機能の設定については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter］が表示されない

原因	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない。
対処	本製品を差し込んでいない状態では表示されません。本製品がPCカードスロットに差し込まれていることを確認してください。 タスクトレイ（画面右下）にPCカードアイコンがなければ、本製品をそのまま取り外して、もう一度取り付けてください。 タスクトレイにPCカードアイコンがあれば、82ページを参照し、カードを取り外し、再度取り付けてください。

CD-ROMドライブがない、または、PCカード接続のCD-ROMドライブを使っているので、インストールできない

対処　下記の手順にしたがってください。

●PCカード接続でCD-ROMドライブをお使いの場合

パソコンにPCカードスロットが１つのみで、かつPCカード接続のCD-ROMドライブをお使いの場合、インストール時にCD-ROMドライブが使えません。
以下の方法で「サポートソフト」の内容をハードディスクにコピーしておいてください。

1　パソコンにCD-ROMドライブを接続し、パソコンの電源を入れます。

2　①エクスプローラを起動します。

・Windows XPの場合

[スタート]→[すべてのプログラム]→［アクセサリ］→[エクスプローラ]を順にクリックします。

・Windows 2000の場合

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]を順にクリックします。

・Windows Meの場合

[スタート]→[プログラム]→[エクスプローラ]を順にクリックします。

②[すべてのファイルを表示する]に設定します。

1. ［ツール］メニューの［フォルダ オプション］を選びます。
2. ［表示］タブに移動し、［すべてのファイルとフォルダを表示する］をチェックします。（Windows XPの場合は、［表示］タブの［詳細設定］欄にあります。）
3. ［OK］ボタンをクリックします。



参考

[ツール]メニューの[フォルダ オプション]が無い場合、以下の手順で設定します。
①[表示]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
②[表示]タブの[すべてのファイルを表示する]をチェックします。
③[OK]ボタンをクリックします。

3 CD-ROMドライブに「サポートソフト」ディスクをセットします。

4 ハードディスクドライブ（Windowsなどがインストールされているドライブ）に、任意のフォルダ（ディレクトリ）を作成します。

5 「サポートソフト」ディスクの内容をすべて手順4 で作成したフォルダ（ディレクトリ）にコピーします。

インストールの手順内では、手順4で作成したフォルダを指定してください。

●CD-ROMドライブがない場合

パソコンにCD-ROMドライブが無い場合は、以下を行ってください。

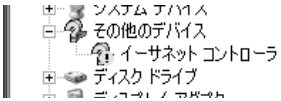
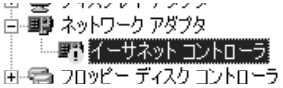
1 インターネット上の弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/lib/）より、本製品添付のサポートソフトのファイルを入手します。

2 ハードディスクドライブ（Windowsがインストールされているドライブ）に、任意のフォルダを作成し、入手したファイルをそのフォルダで展開してください。

インストールの手順内では、ここで作成したフォルダを指定してください。

・本製品が正常に動作しない
・［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter］の頭に、！マークがついている

原因１	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない。
対処	本製品を差し込んでいない状態では表示されません。本製品がPCカードスロットに確実に差し込まれていることを確認してください。 タスクトレイ（画面右下）にPCカードアイコンがなければ、本製品を取り出して、もう一度取り付けてください。 タスクトレイに PC カードアイコンがあれば、【本製品を取り外す】(117 ページ)を参照して、カードを取り出し、もう１度、取り付けてください。

原因２	間違ったドライバが既にインストールされている、または、インストール時に［スキップ］ボタンや［キャンセル］ボタンなどをクリックして中断したためにドライバが正常にインストールされていない
対処	以下の①②をご確認ください。 **①［デバイスマネージャ］で、［その他のデバイス］の下に［イーサネットコントローラ］がある場合**  ［PCI Ethernet Controller］と表示される場合があります。 ⇒［イーサネットコントローラ］を右クリックし、表示された［削除］をクリックして削除後、パソコンを再起動します。再起動後、再度インストールしてください。 **②［デバイスマネージャ］の一覧→［ネットワークアダプタ］の下に［イーサネットコントローラ］がある場合**  ［PCI Ethernet Controller］と表示される場合があります。 ⇒［イーサネットコントローラ］を右クリックし、表示された［削除］をクリックして削除後（削除できない場合は次ページへお進みください）、パソコンを再起動します。再起動後、再度インストールしてください。 （次ページへ）

対処（続き）

（前ページからの続き）

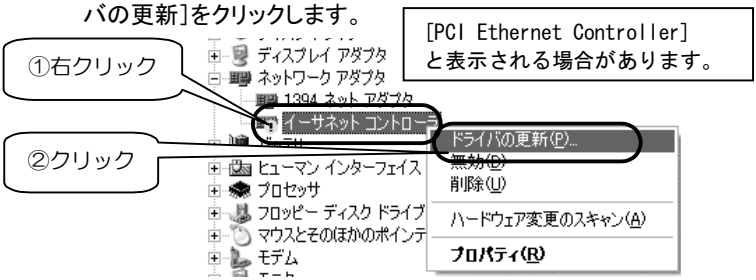
・［イーサネットコントローラ］を削除できない場合

Windows XPおよびWindows 2000の場合は、[イーサネットコントローラ]を削除しようとすると以下のエラー画面が表示される場合があります。



その場合は、[OK]ボタンをクリック後、以下の手順でドライバを更新してください。

1. ［イーサネットコントローラ］を右クリック後、表示された[ドライバの更新]をクリックします。



2. ［ドライバの更新］クリックして、ドライバを更新してください。

［ネットワーク］画面で、［I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter］が表示されない

対処

前ページの【本製品が正常に動作しない】をご覧ください。

無線LAN接続できない

原因1	相手側無線LAN機器の設定と本製品の設定が合っていない。
対処	相手側無線LAN機器と下記設定が一致していることをご確認ください。 「SSID」 「モード（InfrastructureかAd hoc）」 「WEP（暗号キー）」 「チャンネル（Ad hocモードのみ）」
原因２	有線LAN接続が影響している。
対処	お使いのパソコンで有線LAN接続を併用している場合は、有線LAN接続を無効にしてみてください。
原因３	本製品のドライバが正しくインストールされていない。
対処	下記の手順にしたがってください。 ①本製品を削除してください。（【本製品を削除する（アンインストール）】（118ページ） ②再度、はじめからインストールしてください。

［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）に、他のコンピュータ名が表示されない

原因1	本製品を正しく取り付けていない。
対処	タスクトレイ（画面右下）にPCカードアイコン（またはハードウェアの取り外しアイコン）がなければ、本製品をそのまま取り外し、再度取り付けてください。PCカードアイコン（またはハードウェアの取り外しアイコン）があれば、117ページを参照して、カードを取り外し、再度、取り付けてください。正しく通信できていれば、本製品のランプが点灯・点滅します。

原因２	《アクセスポイントを使用していない場合》 通信先と同じSS IDを設定していない。
対処	通信先のSS IDと同じ値にしてください。
原因３	《アクセスポイントを使用していない場合》 通信先のパソコンと同じワークグループ名が指定されていない。
対処	【ファイルを共有する】(81ページ)の各OSの項を参照して、ネットワーク上のすべてのパソコンに対し、同じワークグループ名を指定してください。
原因５	《アクセスポイントを使用している場合》 アクセスポイントと同じSS IDを設定していない。
対処	アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントと同じSS IDにする必要があります。SS IDを同じ値にしてください。
原因６	IPアドレスの設定が間違っている。
対処	設定をご確認ください。（【ファイルを共有する】81ページ参照）
原因７	無線状態が悪く、電波が届かない。
対処	無線間の距離を短くしたり、障害物を取り除いたり、通信チャンネルを変更してから、再度試してみてください。
原因８	セキュリティ関連のソフトウェアをインストールしている。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

設定ユーティリティがインストールできない（以下のようなエラーとなる）

エラーメッセージ

「InstallShieldエンジン(iKernel.exe)をインストールできませんでした。
システムは、指定されたデバイスからは読み取れません。」

原因	パソコンに常駐しているアプリケーションが、InstallShieldの動作の妨げになっている。
対処	常駐しているアプリケーションを常駐解除してください。 （設定ユーティリティをインストールするときのみ） アプリケーションの常駐解除方法は、各アプリケーションの取扱説明書などをご覧ください。（「設定ユーティリティ」のインストール時のみのもので、インストール後は、常駐してもかまいません。）

パソコンが起動しない

原因1	他のPCカードと同時に挿入した状態で起動している。
対処	**●CardBus PCカードと同時に挿入した場合** 他のCardBus PCカードと同時に使用できないパソコンがあります。本製品のみを挿入してお使いください。2002年12月時点で、CardBus PCカードを2枚同時使用できないことが確認されている機種は下記のパソコンです。 EPSON　PROSPERT N13FA,N15GX FUJITSU　FMV-5150NA3/W,5133NP5/W,5133NP/W パッカードベル NEC ジャパン Versa6035H,Versa6050MH SANYO　Winkey MBC-S770 **●16bit PCカードと同時に挿入していた場合** 本製品と16bit PCカードの両方を挿入してOSを起動するとWindows起動途中で止まってしまう場合があります。最初にどちらかを挿入し、Windows起動後にもう片方を挿入してください。

「レジューム」「ハイバネーション」「スタンバイ」の後、動作が不安定になる

対処	「レジューム」「ハイバネーション」「スタンバイ」を行わないように設定してください。



注意！

「レジューム」「ハイバネーション」はメーカー独自のユーティリティやパソコン本体のBIOS で設定している場合があります。
設定を変更するにはパソコン本体の取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカーにお問い合わせください。



参考

●「レジューム」とは…
→レジューム機能とは、しばらく何も操作しないでいたり、電源を入れたままノートパソコンのふたを閉めると自動的に働く省電力機能です。

レジューム機能の停止方法(Windows Me の例)
①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[電源の管理]アイコンをダブルクリックします。
②[システムスタンバイ]欄の[電源に接続][バッテリを使用中]を共に「なし」に設定してください。

●「ハイバネーション」とは…
→ハイバネーション機能とは、ノートパソコンでバッテリーが残り少なくなると自動的に電源を切る直前の状態をハードディスクに保存しておき、電源を入れた時に元の状態に戻す機能です。
ハイバネーション機能が無効になるよう設定してください。

●本製品を使用中は、スタンバイ機能に対応しているパソコンでは"[スタート]→[Windows の終了]"での[スタンバイ]は選択しないでください。

（Windows Meのみ）［ネットワークパスワードの入力］画面が表示されない

原因	ドライバが正常にインストールされていない。
対処	【②ドライバをインストールする】をご覧になり、インストールが正常かを確認してください。

（Windows Meのみ）デスクトップに、［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）アイコンが表示されない

原因	ネットワークの設定で［Microsoftネットワーククライアント］が登録されていない。
対処	［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［ネットワーク］を開き、［Microsoftネットワーククライアント］が登録されているか確認してください。 無い場合は、［追加］ボタンで追加してください。 また、［優先的にログインする］を［Microsoftネットワーククライアント］になっているかも確認してください。

(Windows Meのみ)
［ネットワーク］画面に、［TCP/IP－＞xxxxxxxx]は複数表示されているのに、［TCP/IP－＞I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter]が表示されていない

原因	登録されているLANアダプタの数が多い。 （登録できるLANアダプタの数には、制限があります。）
対処	［ネットワーク］画面で、必要の無い、あるいは使用していないLANアダプタをクリックして、［削除］ボタンで削除してください。 **●必要の無いLANアダプタの例** ・以前使用していたが、現在使用していないLANアダプタ ・赤外線通信を行わない場合の「赤外線通信アダプタ」 ※赤外線通信アダプタの名称は、パソコン本体により異なります。 また、パソコン本体のBIOSの設定が必要となる場合がありますので、詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。 ・インターネット・プロバイダに「AOL」を使用していない場合の「AOL Adapter」および「AOL Dialup Adapter」

(Windows Meのみ)
[マイネットワーク]または[ネットワークコンピュータ]アイコンをダブルクリックしてもワークグループ名アイコンや他のパソコンが表示されない。

原因	Windowsのネットワーク機能が正常に動作していない。
対処	次ページの【ネットワーク機能を確認する】を参照してください。

・ネットワーク機能を確認する

正常に組み込まれなかったネットワークに関するものを以下の順番で削除を行ってください。

1 ［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］→［ネットワーク］を開きます。

2 ［ネットワーク］画面に表示される内容を下記の種類順に削除します。



注意！

削除する順番が異なると、ネットワークがうまく構成し直せなくなる場合がありますので、必ず下記の順で削除してください。

＜削除する順＞

① サービスをすべて削除します。



［Microsoft ネットワーク共有サービス］など［xxx 共有サービス］という名称のものが該当します。

サービスの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

② クライアントをすべて削除します。



［Microsoft ネットワーククライアント］、［Microsoft ファミリログオン］など［xxx クライアント］という名称のものが該当します。

［コントロールパネル］→［ネットワーク］を開いて、クライアントをすべて削除します。サービスの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

③ プロトコルをすべて削除します。



［TCP/IP（TCP/IP->xxxx）］、［NetBEUI（NetBEUI->xxxx）］、［IPX/SPX（IPX/SPX->xxxx）という名称のものが該当します。

プロトコルの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

3 ［コントロールパネル］→［ネットワーク］を開くと、アダプタ関連が残ります。この状態になったら、接続するネットワーク環境に必要なものを以下の順に追加します。

＜追加する順＞

① クライアントとプロトコルを追加します。

クライアントを追加しますと、プロトコルも一緒に追加されます。

追加する方法は、以下の通りです。

1) ［追加］ボタンをクリックします。
2) ［クライアント］をクリック後、［追加］ボタンをクリックします。
3) ［製造元］で［Microsoft］を選択し、［クライアント］で必要なプロトコルの名称（［Microsoft ネットワーククライアント］など）をクリックし選択します。
4) ［OK］ボタンをクリックします。
5) クライアントとプロトコルが追加されたことを確認します。

② サービスを追加します。

追加する方法は、以下の通りです。

1) ［追加］ボタンをクリックします。
2) ［サービス］をクリック後、［追加］ボタンをクリックします。
3) ［製造元］で［Microsoft］を選択し、［サービス］で必要なサービスの名称（［Microsoft ネットワーク共有サービス］など）をクリックし選択します。
4) ［OK］ボタンをクリックします。
5) サービスが追加されたことを確認します。

4 ［優先的にログオンする］は、上記にて追加し直したクライアントを選択してください。

5 以上の設定を行って再起動した際、ネットワークへのログオン画面が表示されると思います。ここでは、キャンセルせずに必ず［OK］ボタンをクリックしてください。（パスワードは未入力でも可）

以上で設定は終了です。

本製品を取り外す

本製品は、パソコンの電源を切った後にPCカードスロットから取り外すことができますが、使用中に取り外すこともできます。

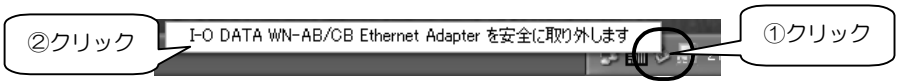
注意！

- **本製品を取り外す場合は、本製品を使用していない、また、他のパソコンからアクセスされていないことを確認してから取り外してください。**
- **以下の手順を行うと、実際に本製品を PC カードスロットから抜かなくても動作は終了したとみなされ、本製品は使用できなくなります。**
  再度使用したい場合は、いったん PC カードスロットから本製品を抜いて、再び接続してください。

Windows使用中に取り外す場合

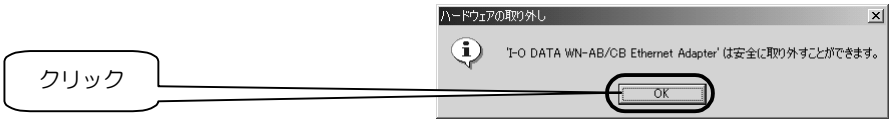
（画面例は、Windows 2000）

1 画面右下のタスクトレイの （または ）アイコンをクリックし、［I-O DATA WN-AB/CB…］をクリックします。



2 ［OK］ボタンをクリックします。

Windows XPの場合は、確認画面が表示されますので、内容をご確認ください。



Windows XPの場合⇒



3 本製品をPCカードスロットから取り外します。

再度、使うときはそのまま挿入してください。

本製品を削除する(アンインストール)

インストールした設定ユーティリティとドライバソフトを削除します。

①設定ユーティリティを削除する

注意！

設定ユーティリティを削除する前に、必ず設定ユーティリティを終了しておいてください。(タスクトレイのアイコンを右クリックし、[終了]を選択します。)

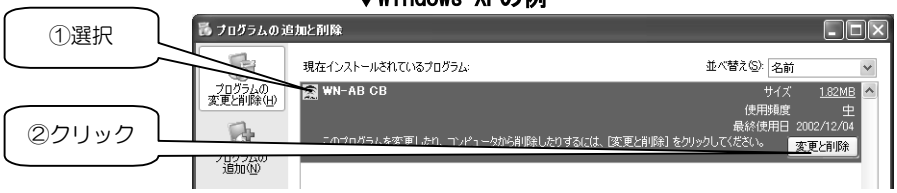
1 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]を開きます。**

2 **[WN-AB CB]を削除します。**

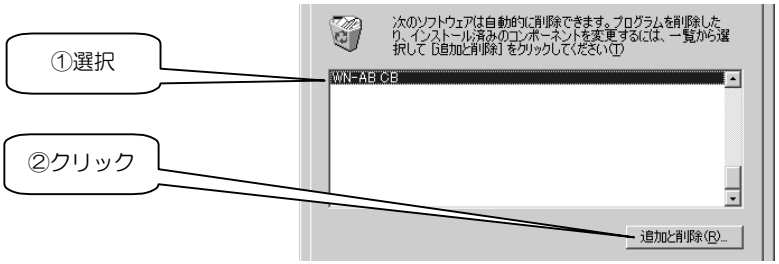
①[WN-AB CB]を選択します。

②[変更/削除]（または[追加と削除]）ボタンをクリックします。

▼Windows XPの例



▼Windows Meの例



後は画面の指示にしたがってください。次にドライバを削除します。

次ページへお進みください。

②ドライバを削除する

インストールした「ドライバソフト」と「INFファイル」を削除します。
（画面はWindows XPを例にしています。）



注意！

本製品は取り付けたままにしておいてください。

1 [デバイスマネージャ]を起動します。

Windows XPの場合

①[スタート]から[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

②[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

Windows 2000の場合

①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

②[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

Windows Meの場合

①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

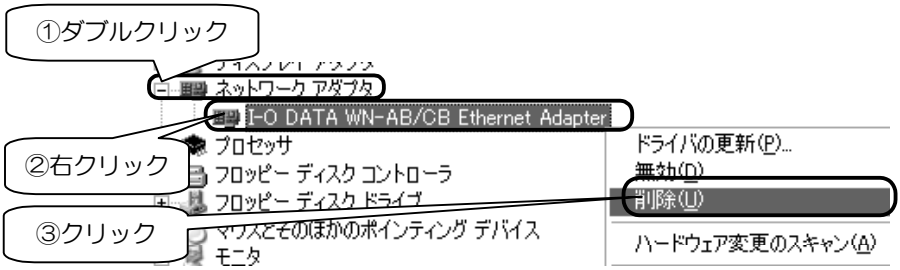
②[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

3 **［I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter］を削除します。**

①［ネットワークアダプタ］をダブルクリックします。

②［I-O DATA WN-AB/CB Ethernet Adapter］を右クリックします。

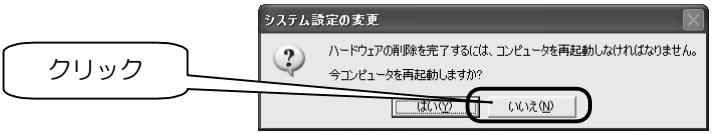
③表示された［削除］をクリックします。



4 **［OK］ボタンをクリックします。**



5 **再起動の画面が表示される場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。**



6 **サポートソフトディスクをCD-ROMドライブにセットします。**

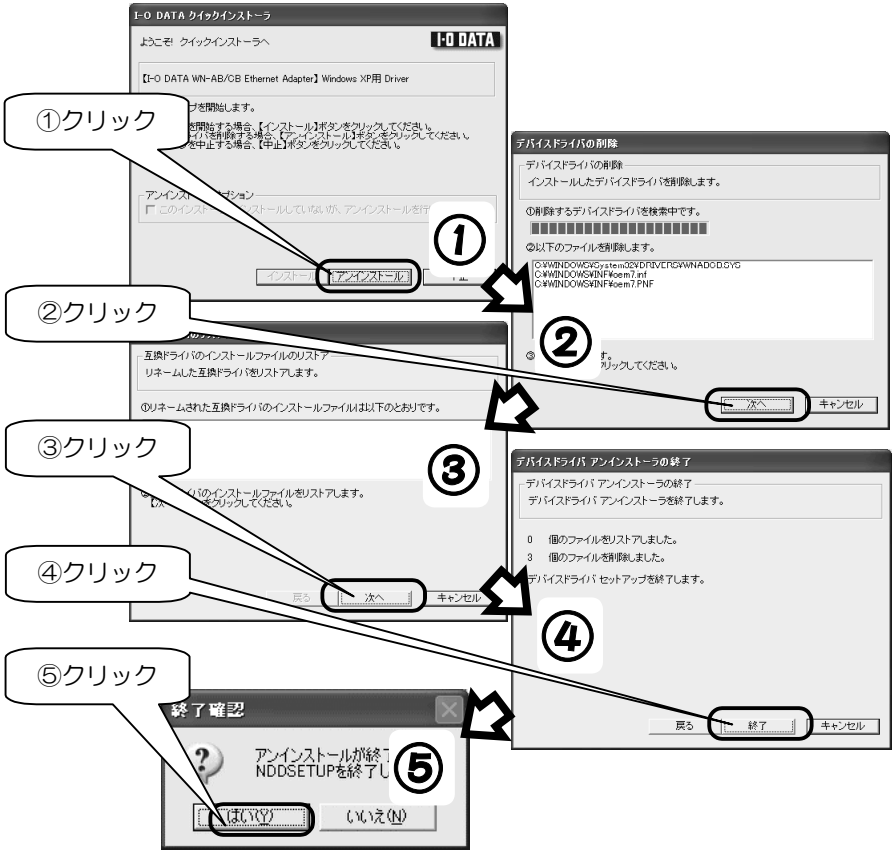


7 **[マイコンピュータ]から、CD-ROMの[NDDSETUP]アイコンをダブルクリックします。**



8 **「INFファイル」をアンインストールします。**

画面の指示にしたがってください。



これでドライバの削除は完了です。

用語解説

Ad hoc［アドホック］

アクセスポイントを介さずに、パソコン同士が直接通信しあう形態です。
他にインフラストラクチャモード（Infrastructure mode）があります。

DHCPサーバ（Dynamic Host Configuration Protocol Server）

DHCPとは各クライアントやEthernet機器へ起動時に動的にIPアドレスを割り当て、終了時にIPアドレスを回収するためのプロトコルです。
同時にゲートウェイアドレスやドメイン名、サブネットマスクその他の情報をネットワーク上のクライアントやEthernet機器へ通知することもできます。

この動的にIPアドレスの割当を行う側の機器がDHCPサーバと呼ばれます。
ダイアルアップルータ等の機器もDHCPサーバの機能を持っています。

DS-SS［直接拡散・スペクトラム拡散方式］

無線通信における変調方式の１つです。
干渉がおきにくい、ノイズの影響を受けにくい、などの特徴があります。

Ethernet［イーサネット］

米国ゼロックス社、ディジタル・イクイップメント社、インテル社によって開発されたネットワーク通信方式です。当初この方式は、基礎帯域伝達、CSMA/CDアクセス、論理バストポロジー、同軸ケーブルを使用して構成されていました。
後にIEEE802.3として規格化され、光ファイバー、広周波数帯域、ツイストペアで運用するリピータなどを使って拡張する追加機能が定義されました。

IEEE802.11

無線LANの国際的な標準規格です。
IEEE802.11bでは、通信速度が11Mbpsまで拡張されています。
IEEE802.11aでは、通信速度が54Mbpsまで拡張されています。

Infrastructure［インフラストラクチャ］

アクセスポイントを介して通信する形態です。

MACアドレス（Media Access Control Address）

Ethernet機器ごとの固有の物理アドレスです。
MACアドレスは、先頭からの３バイトのベンダーコードと残り３バイトのユーザコードの６バイトで構成されています。
ベンダーコードはIEEEが管理／割当を行っており、ユーザコードは、Ethernet機器メーカーが独自の番号（重複することのない）で管理を行い、世界中で単一のアドレスが割り当てられています。
Ethernetではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

Mbps（Megabits per second）［メガビーピーエス］

１秒間に伝送するデータの単位です。
11Mbpsは１秒間に11メガビット、54Mbpsは１秒間に54メガビットのデータを伝送できます。

OFDM［オーエフディーエム］

Orthogonal Frequency Division Multiplexing。直交周波数分割多重。

SS ID（Service Set ID）［エスエスアイディー］

複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。
SS IDが一致していないとそのネットワークには参加できません。

TCP/IP

主にインターネット上などで使用される基本プロトコルの１つです。

WEP（Wired Equivalent Privacy）

IEEEにて規定されている標準の暗号化方式です。
各無線通信機器同士が共通の暗号鍵を使用して通信データを暗号化します。
暗号鍵を知らないパソコンは通信に参加することができません。

アクセスポイント

インフラストラクチャモード（Infrastructure mode）での通信の中継点となるポイントです。
他のパソコンでは、アクセスポイントと通信することで他のパソコンと通信します。
有線LANと無線LANの中継点ともなります。

チャンネル

無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができます。
チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。

ピアツーピア接続

サーバ／クライアントのような上下関係の無い対等な関係で行う通信のことです。

ローミング機能

複数のアクセスポイントを設置した環境で、各アクセスポイントのサービスエリア間を移動した場合に、自動的にアクセスポイントを切り替える機能です。
その場合、それぞれのアクセスポイントのSS IDとWEPが同じ設定である必要があります。

仕様

商品名	IEEE802.11a/bデュアルバンド 無線LAN PCカード	
製品型番	WN-AB/CB	
規格	IEEE802.11a/ IEEE802.11b/ IEEE802.11	
周波数帯域	5.2GHz帯 (5.15～5.25GHz)	2.4GHz帯 (2.4～2.497GHz)
チャンネル	34,38,42,46ch	1～14ch※1
伝送速度	54,48,36,24,18,12,6Mbps	11,5.5,2,1Mbps
変調方式	OFDM (直交周波数分割多重) IEEE802.11a準拠	DS-SS (直接拡散・スペクトラム拡散方式) IEEE802.11b準拠
データ到達距離※2 (最大)	屋内約100m	屋内約100m 屋外約200m
無線設備の種別	小電力データ通信システム	
セキュリティ方式	WEP (Wired Equivalent Privacy), SS ID (Service Set ID) ※SS IDはアクセスポイント使用時	
アクセス方式	アドホック (Ad hoc) インフラストラクチャ (Infrastructure) ※インフラストラクチャはアクセスポイント使用時	
アンテナ方式	ダイバーシティ・アンテナ	
ホストインターフェイス	PCMCIA PC CARD TYPEⅡ	
使用電源	DC3.3V±5%	
消費電流	約510mA (最大)	
使用温度範囲	5℃～35℃ (パソコンの動作する温度範囲であること)	
使用湿度範囲	10%～85% (結露しないこと)	
外形寸法	約54 (W) ×119 (D) ×11(H)mm (突起部含む)	
質量	約50g	
適応規格	TELEC	

※1 14chでは送信レート１Mbps、２Mbpsのみとなります。
※2 環境条件により変化します。

アフターサービス

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsなど」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…076-260-3644　東京…03-3254-1144
※受付時間　9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1．ご使用の弊社製品名
2．ご使用のパソコン本体の型番
3．ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4．トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。

故障と判断された場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理について（つづき）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

WN-AB/CB 取扱説明書
2002.Dec.18　126789-01
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

© 2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。